

09-開-04

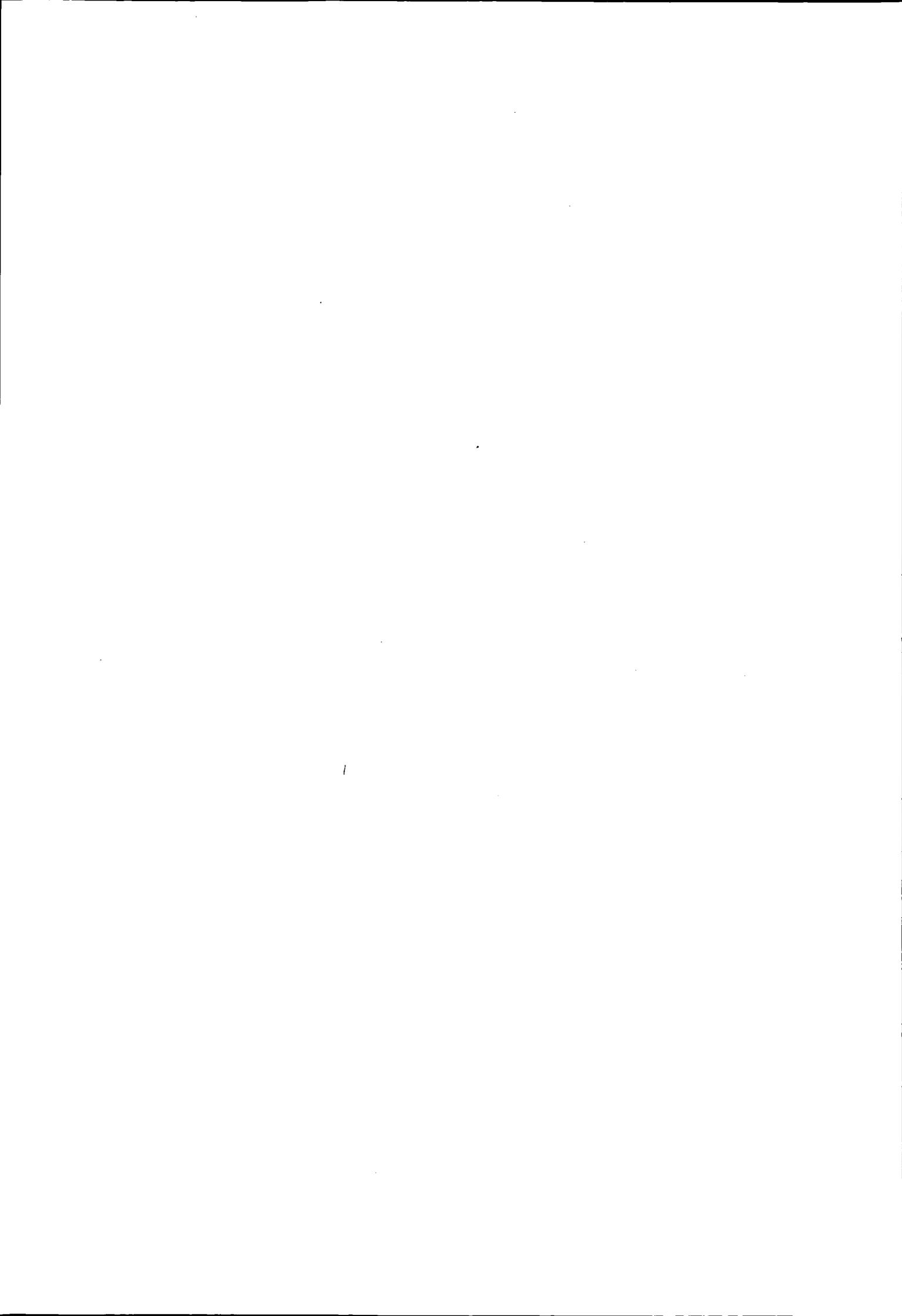
データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

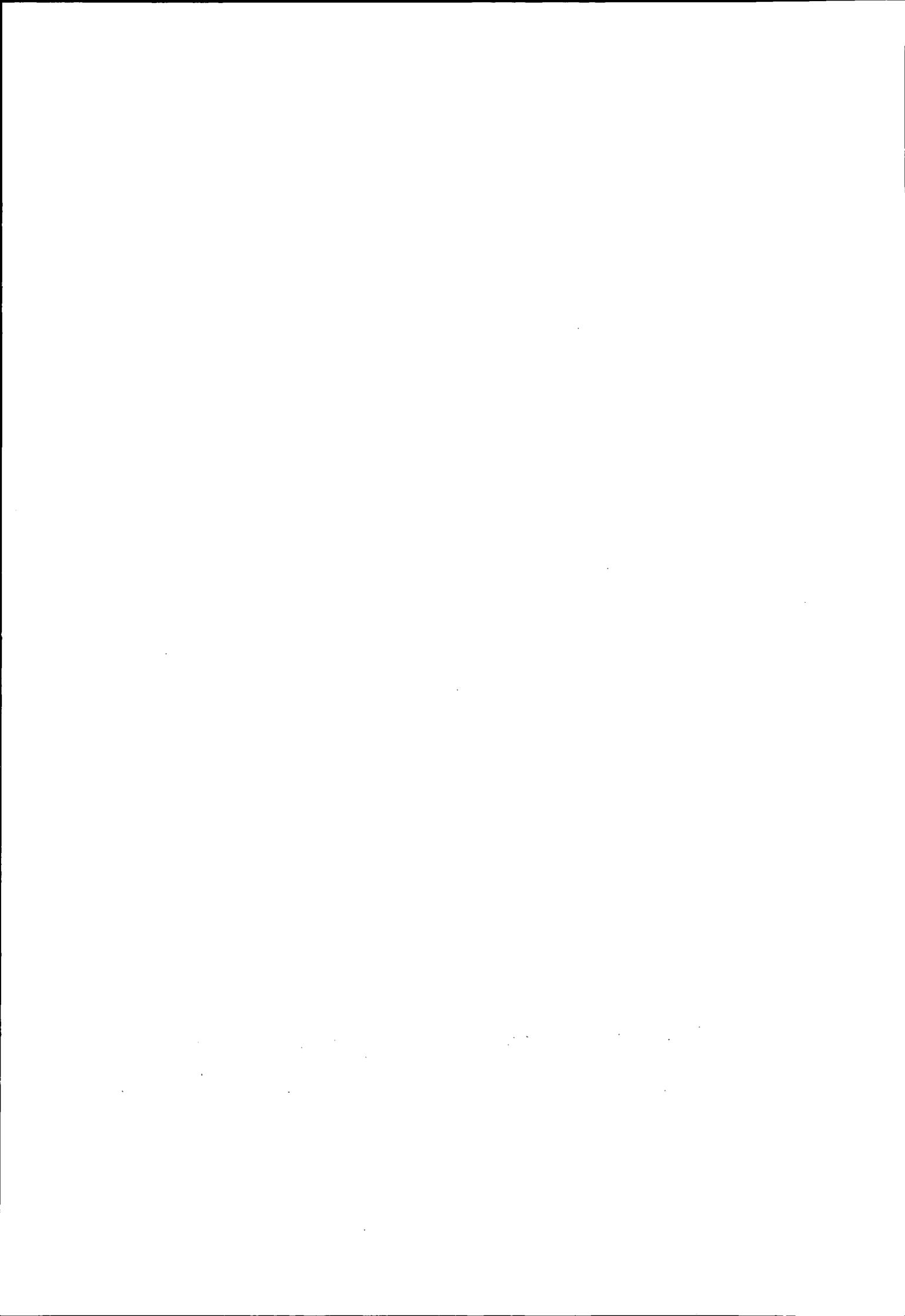
## 高齢者在宅介護情報のデータベース構築

平成10年3月

財団法人 データベース振興センター

委託先 株式会社 フォワード





KEIRIN



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものである。

## 序

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは1/3にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスひいてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体等に対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当たって、当財団に学識経験者の方々に構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会(委員長 東海大学教授 上條史彦氏)を設置している。

この「高齢者在宅介護情報のデータベース構築」は平成9年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として、当財団が株式会社 フォワード に対して委託実施した課題の一つである。この成果が、データベースに興味をお持ちの方々や諸分野の皆様方のお役に立てば幸いである。

なお、平成9年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した課題は次表のとおりである。

平成10年3月

平成9年度 データベース構築・技術開発促進委託課題一覧

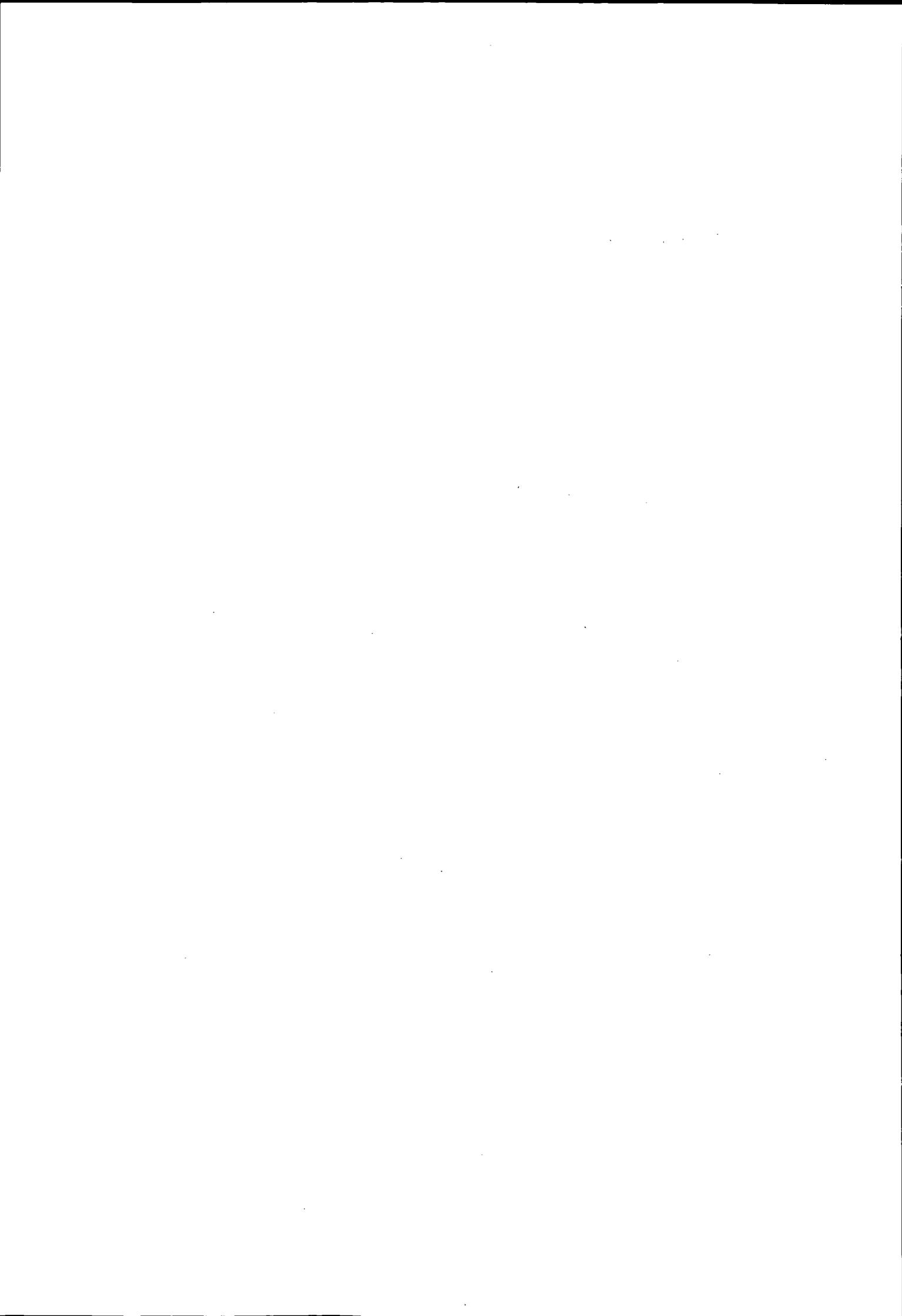
分野	課題名	委託先
社 会	1 インターネット型先進材料DB活用プログラムの開発	(財)次世代金属・複合材料研究開発協会
	2 インターネットを利用したイベント関連情報に関するデータベースの構築	(社)日本イベント産業振興協会
	3 オーサリング型地図付地域ガイドデータベースのプロトタイプ構築	(財)地図情報センター
	4 高齢者在宅介護情報のデータベース構築	(株)フォワード
	5 筑波研究学園都市研究便覧インターネット対応化事業	(株)筑波出版会
	6 建築行政指導要綱のHTMLデータベース構築	日本建築法令(株)
	7 中小小売業のための商品仕入れ情報データベースプロトタイプ構築	(財)店舗システム協会
地域活性化	8 新聞記事・画像データベース構築	琉球新報社
技 術	9 イメージファイリングの効率的活用を目指す書誌情報データベース検索技術の構築	(株)会議録研究所
	10 やわらかい分散オブジェクトシステムに関する調査研究	(株)シネ・ジャーナルプロダクション

# 目 次

1. 概 要	1
1. 1 構築の背景と目的	1
1. 2 実施体制	2
2. 調査検討	3
2. 1 在宅介護に係る各機関の相関関係	3
2. 2 福祉施設「特別養護老人ホーム」の概要	5
2. 3 データベース構築コンセプト	6
2. 4 ホームヘルパーの現況	7
3. 実施結果	10
3. 1 データベース構築項目一覧	10
3. 2 在宅介護の要請から介護支援開始までの流れ	14
3. 3 在宅介護データベース利用の流れ	14
3. 4 システム構成	16
3. 5 データベース機能構成	17
3. 6 運用テスト概要	18
4. 今後の課題	19

## 〈参考資料〉

高齢者在宅介護支援システム設計書	20
機能一覧	
ブロック関連図	
マスター項目定義	
高齢者在宅介護支援システム画面イメージ	35
各種画面	



## 1. 概要

### 1.1 構築の背景と目的

現在人生80年の長寿の時代が到来し、世界でも例を見ない速さで人口の高齢化が進んでいる。65歳以上の人口は、平成6年は1,758万人で総人口の14.1%に達し、これが平成12年には17.0%となり北欧諸国の水準に達し、平成37年には25.8%という他に例をみない超高齢化社会を迎えようとしている。

なかでも、今後、75歳以上の後期高齢人口のウエイトが更に大きな勢いで高くなっていくことから、寝たきり老人や痴呆性老人等の要介護者が急増し、平成5年において約200万人と推計されている要介護老人は、平成37年には530万人に達するものと見込まれている。(表1-1参照)

表1-1 厚生省推計資料

	要介護老人	内 訳		
		虚弱老人数	要介護の 痴呆性老人	寝たきり老人数
平成5年	200万人	100万人	10万人	90万人
平成12年	280万人	130万人	20万人	120万人
平成22年	390万人	190万人	30万人	170万人
平成37年	530万人	260万人	40万人	230万人

このような状況で、高齢者が可能な限り住み慣れた家庭や地域の中で、自立して暮らし続ける事が出来るように、ホームヘルパーなどの在宅福祉サービスを大幅に拡充していくことが重要視されているが、在宅福祉の分野は、施設に比較し立ち遅れている事から、質的・量的拡大を図っていく必要性が求められている。

今回研究構築したデータベースシステムは在宅介護を情報面から多角的に分析出来ることを目的として研究構築する事とした。

## 1. 2 実 施 体 制

本課題の実施にあたっては「在宅介護」を取り巻く現行制度及び環境調査を行う為、検討委員会を設置し関係機関からの情報収集、分析から開始した。

### (1) 「高齢者在宅介護情報データベース構築」検討委員会

委員長	廣 木 守 雄	中京大学情報学部教授
委 員	永 田 量 子	名古屋大学医療技術短大 看護学科助教授
	松 井 政 雄	東海北陸データベース懇話会 事務局長 (平成9年9月末日退職)
	竹 内 好 男	東海北陸データベース懇話会 事務局長 (平成9年10月1日就任)
	下 谷 豊	(株) フォワード代表取締役
オブザーバー	嶺 村 英 逸	中部通商産業局 情報政策室長
事務局	反 保 進	(株) フォワード ネットワーク部 部長

## 2. 調査検討結果

### 2.1 在宅介護に関する各機関の相関関係

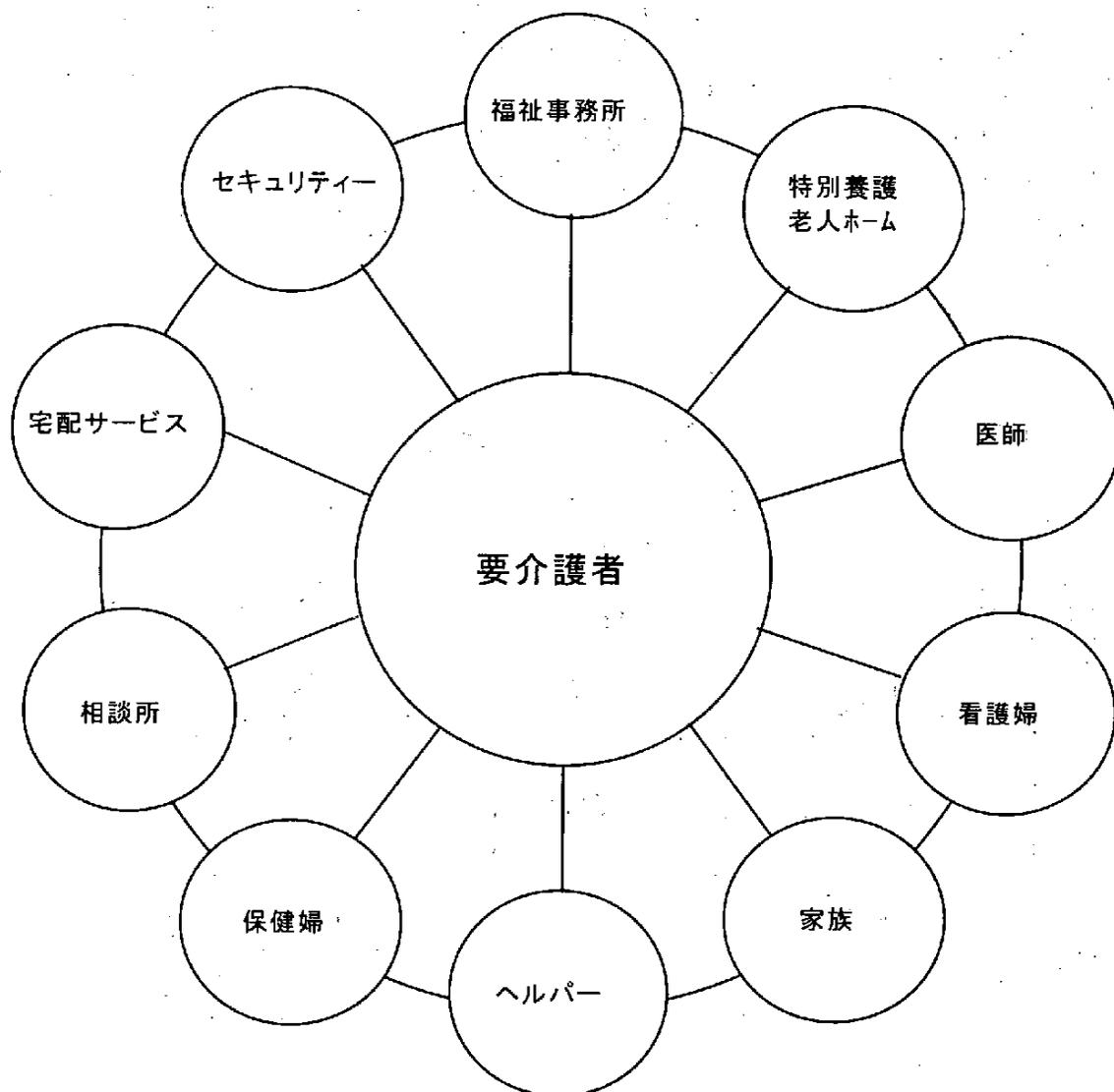


図2-1 関係機関相関図

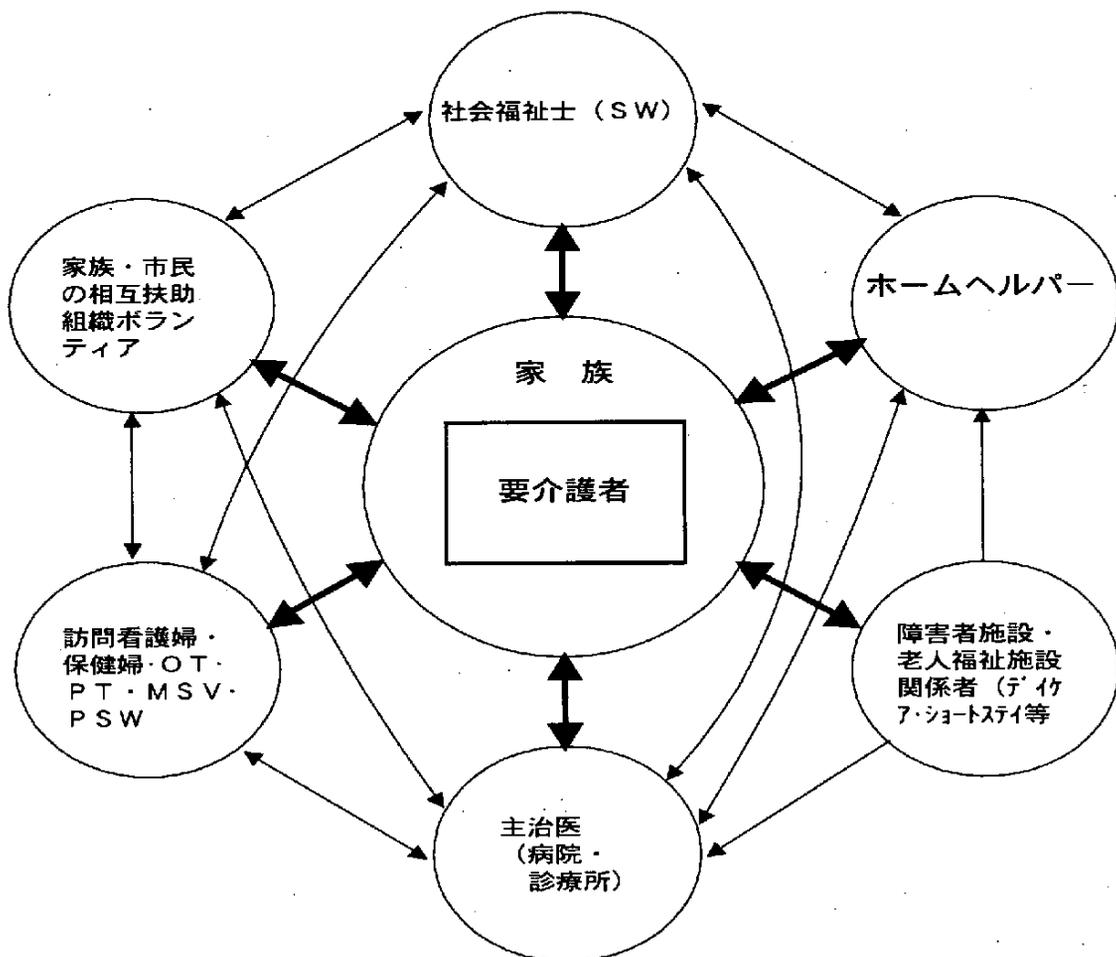
調査の結果、1人の在宅要介護者に対する在宅介護支援体制は図2-1の様なさまざまな機関との連携が不可欠である。

具体的には社会福祉士、老人福祉施設関係者、かかりつけ医師、介護家族の相談による介護計画（ケアプラン）作成が挙げられる。

表2-1に各種団体の役割概要を掲載した。

表2-1 各種団体役割概要

福祉事務所	要介護者短期保護、要介護者日常生活用具給与・貸与、ホームケア促進訪問事業、住宅改造モデル事業
特別養護老人ホーム	ショートステイ、デイサービス、高齢者介護ホーム、在宅介護支援センター、ケアハウス、入浴サービス等
医師、看護婦	診断、治療、保健福祉活動
家族	介護、相談
ホームヘルパー	介護活動、各機関との連絡
保健婦、相談所	相談と訪問、栄養指導及び相談、老人保健相談等
宅配サービス、セキュリティ	在宅給食サービス事業、非常ベル設置、車椅子貸出し



OT：作業療法士 PT：理学療法士 MSW：医療ソーシャルワーカー  
 PSW：精神医学的ソーシャルワーカー

図2-2 要介護者情報ネットワーク

上記福祉団体の専門家により調査が行われ、要介護者に対しての在宅介護計画が立案実行される。

2. 2 福祉施設「特別養護老人ホーム」の概要

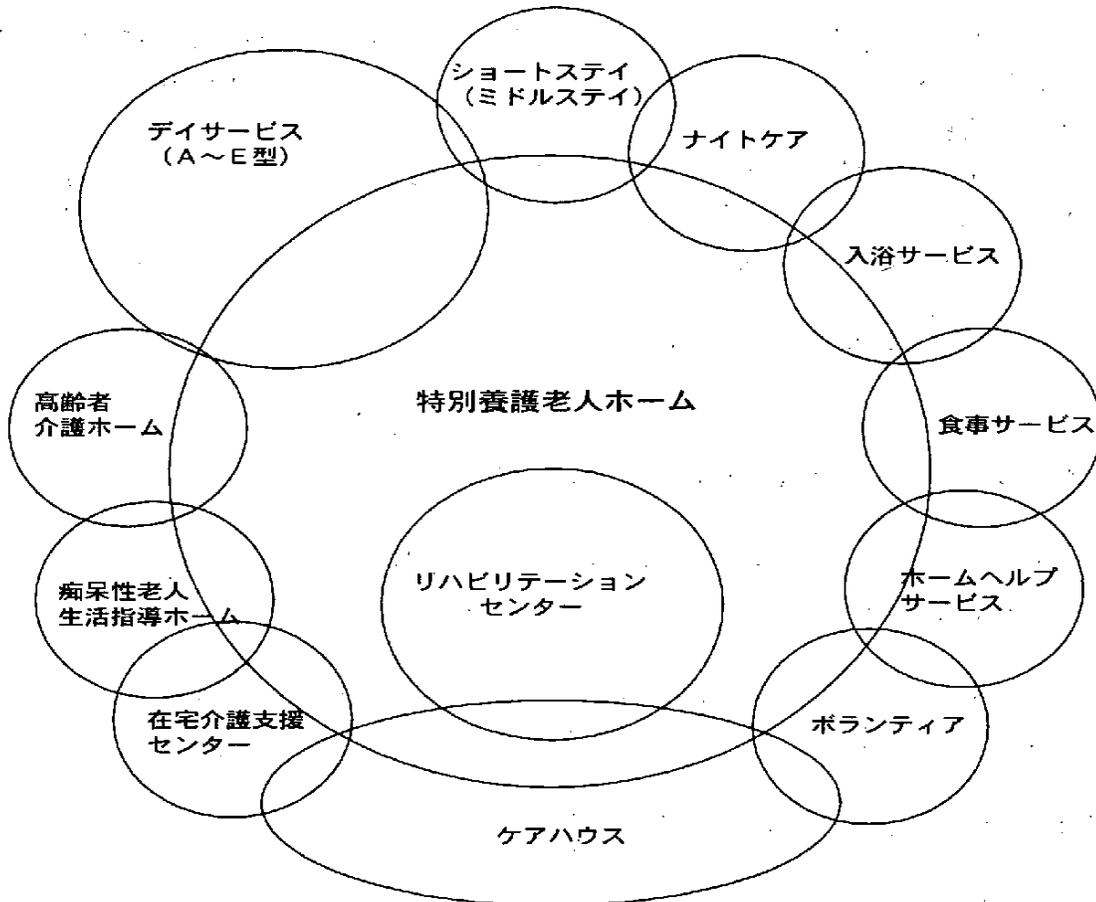


図2-3

表2-2 各セクションの役割

ケアハウス	高齢者の自立支援老人ホーム
在宅介護支援センター	介護機器の利用や介護方法についての助言を行う 家庭訪問
ボランティア	各種の慰問やクラブ活動、食事や入浴の介助など
痴呆性老人生活指導ホーム	24時間体制で観察、精神科医による生活指導
高齢者介護ホーム デイサービス	毎日通所型、送迎付、昼間の介護、入浴、昼食 散歩、レクリエーション等
ショートステイ、ミドルス テイ、ナイトケア	冠婚葬祭、介護疲れ等で、昼間の介護体制が取 れない時期、3ヶ月くらいまで随時に入所
入浴サービス	施設内の特殊浴場を利用して入浴を行う
食事サービス	施設内の給食を利用する
ホームヘルプサービス	要介護者の家族をヘルパーが訪問し、日常の 世話をを行う。家族の介護負担の軽減を計る。
リハビリテーションセンター	要介護者の機能回復訓練を行う。

## 2. 3 データベース構築コンセプト

上記の様に、要介護者1人に対し「特別養護老人ホーム」等施設を利用した介護支援計画（ケアプラン）がまとめられ、ホームヘルパーが直接要介護者宅を訪問し生活介助作業を行う事にて運用される。

ここで、要介護者の一次情報源となり得るのは介護家族以外ではホームヘルパーで有ることに注目した。介護作業以外に客観的に現状把握が出来、関係各機関との情報交換窓口であるホームヘルパーからの情報をデータベースの入力源として構築する事を決定した。

又、データベースの構築に当たっては下記の様なコンセプトに基づき設計する事とした。

### (1) 介護計画（ケアプラン）の多様化に対応できる事。

要介護者個々人は、介護を必要とする作業も生活環境も異なることから、必ずしも同一の介護作業は必要無い。よって要介護者別の介護計画（ケアプラン）が必要である。

データベース情報はケアプラン策定の基礎資料となり将来のケアプラン変更の情報源として利用出来る項目を盛り込む。

### (2) 訪問宅でホームヘルパーが入力可能な手段。

情報は介護者宅で記入、入力出来る事が最も望ましく、写真等の画像データも扱える携帯端末機器を選択する。

又、入力方法は、情報機器を扱った事のない人でも操作出来る様な簡易な操作性を追求する。

### (3) データベース情報の活用

データベースの情報は、要介護者個々人の日々の身体情報となり長期の運用により疾病等の判断材料としての活用も考えられる。

又、要介護者から寄せられる様々な要求、要望は今後の在宅介護の運用形態を模索する上で重要な情報となり得る為、容量等十分考慮する。

## 2.4 ホームヘルパーの現況

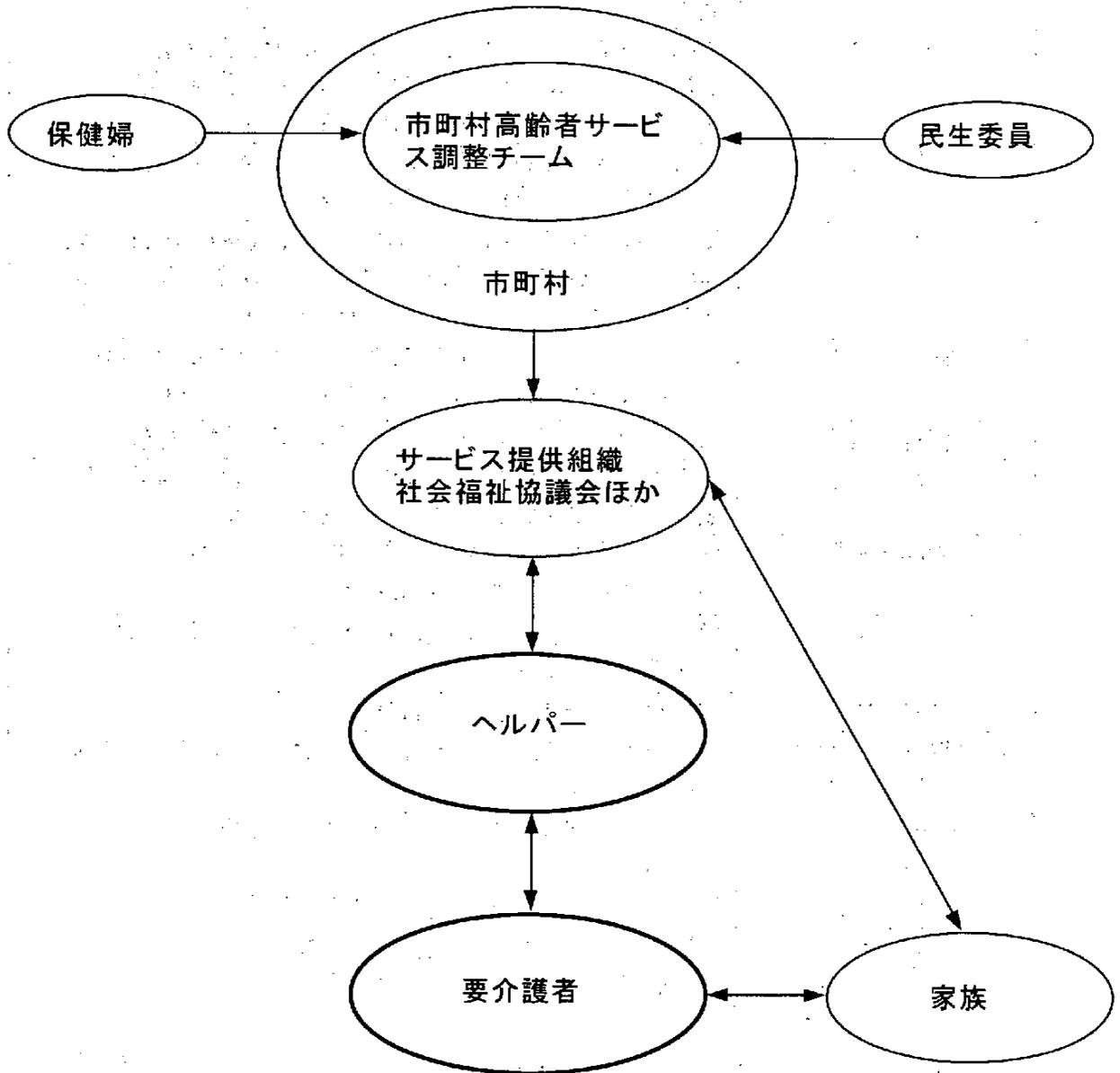


図2-4 ホームヘルパーを取り巻く環境

ホームヘルパーの介護作業内容としては次の様な作業が定義されている。

表 2 - 3 介護作業一覧

分 類	項 目
食 事	献立作成、調理、食事介助、後片付け、水分補給、間食
清 潔	洗面、歯磨き、口腔清拭・洗浄、洗髪、全身清拭、手足浴、陰部洗浄、入浴介助、入浴付添い、髭剃り、爪切り耳掃除、髪の手入れ、浴槽清掃・湯張り
排 泄	おむつ交換、尿びんの使用、ベッド上排泄介助、ポータブルトイレ介助、トイレ誘導
リ ハ ビ リ	体位交換、座位保持、移動介助、立位訓練、歩行訓練、抱縮予防の関節屈伸運動、散歩介助、通所介助、言語練習、レクリエーション・アクティビティ
寝具・衣服	寝衣・シーツ交換、衣類脱着の介助、洗濯、洗濯取り入れ、洗濯整理、縫い物、アイロンがけ、布団干し
精神的援助	話し相手、心理的援助、生活上の助言、情報提供
投 薬	服薬管理、心理的換気、室温、日当り調整、整理・整頓、居室内清掃、台所清掃、ゴミ出し援助
受診・通院	往診医・専門医の紹介、通院介助、通院付添い、薬の受け取り、医師への病状説明
住居	換気、室温、日当り調整、整理・整頓、居室内清掃、台所清掃、ゴミ出し
買い物等	買い物、手続き代行、金銭管理
関係機関への連絡・利用援助	福祉事務所・社協・在宅福祉サービス、保健所、訪問看護ステーション
健康チェック 在宅確認	顔色、全体状態、発汗、排便、食事、応答、血圧、脈拍、体温
ポディーチェック	整容、着替え、食事、動作、失禁、服装
環境チェック	新聞受け、ゴミ箱、屋内掃除、台所
要望・問題点	要介護者・家族からの要望や問題点を文章で記入

上記の様に、ホームヘルパーの介護活動は生活全般に関わり、作業は多岐に渡る。しかし、情報伝達基準は制度化されていない為、作業内容、及び情報は担当者の個人的な主観に左右され、同一団体間でしか利用されず、団体相互の情報交換は出来ていない事が判明した。

又、ホームヘルパーの一日の作業記録は各自手書きで報告され、各団体を通じ管轄官庁に報告されている。この事務作業量もかなりウェイトが高く事務作業の効率化も計れる工夫も求められている事も判明した。

## (1) データベース化によるホームヘルパーのメリット

### ① 初級ホームヘルパーへの情報提供

生活介護活動中心のホームヘルパー（2，3級認定者）に対しての情報支援は、一元管理による介護作業の重複、作業忘れの防止、及び訪問スケジューリング機能による訪問効率アップが図れる。

### ② 上級ホームヘルパーへの情報提供

上級者（1級認定者）へは、作業情報よりも要介護者と周りの組織などとの連携によるケアプラン作成の為の基礎資料作成が中心となる。

同データベースの情報は、身体状況推移が数値化された客観的な情報として貴重な指標として利用できる。

## (2) データベース化による運用注意事項

今回取り扱うデータは、個人のプライバシーに関わる重要な項目をデータベースとして一元化するもので有り、データ漏洩は社会的な信頼関係を損なう重要な問題となる。そのため、データベースのアクセス権については厳重なセキュリティ保護が求められ、携帯端末についても紛失、盗聴等に対してもセキュリティが守れる機能が必須条件となる。この為、システムにはセキュリティ機能の強化策を組み込む事となった。

以上の点に考慮し、データベース構築の為の項目洗い出し及びシステム構築を行った結果を次項より実施結果として掲載した。

### 3. 実施結果

#### 3. 1 データベース構築項目一覧

##### (1) 要介護者マスター項目

要介護者の基本情報としてデータベースの核となるマスターデータで有る。

表3-1 要介護者個人基本情報

種 類	分 類	項 目
基本情報	本 人	郵便番号・住所・氏名・性別・生年月日・年齢・電話番号
世帯構成	家族構成	配偶者有無 有、無、未婚、死別
生計状況	家 族	生計中心者の収入 生活保護、年金のみ
同一生計世帯者	家族構成	氏名・続柄・年齢・職業
現疾患	本 人	主治医、伝染性疾患の有無・身体状況（視覚障害、聴覚障害、言語障害、肢体機能障害、内臓障害、その他の疾患）
身障手帳の有、無	本 人	有（等級、都道府県、取得年月日、障害名）・無
医療状況 病歴	本 人	通院・往診・訪問看護と機関名・投薬の状況
要介護認定ランク、精神・身体状態	本 人	認定ランク、精神症状、行動異常の有無（幻覚・妄想・物忘れ・失見当識・失認・意識障害・自殺企画・攻撃暴力・性的異常行動）
要介護者情報	本 人	不潔行為、奇声を上げる、過食、蒐集癖、乱買、弄火、虚言、外出迷子、徘徊、感情障害、夜間行動異常
症状発生時期	本 人	専門医の受診の有無、診断名、N式スケール評価点（正常・境界・軽度痴呆・中等症痴呆・重傷痴呆）
寝たきりになった時期	本 人	N歳頃から・N年
麻痺などの有無	本 人	褥瘡の有無、動悸息れの有無、便秘の有無、失禁の有無、外傷の有無
家族とのコミュニケーション	本 人	良い・普通・悪い・全く無い

## (2) 生活環境情報

ホームヘルパーの介護作業に必要な情報で有り、介護作業に必要な作業環境情報であり担当者選別基準及び、引継事項として必要な情報項目である。

表3-2 生活環境情報

住 宅 環 境	1戸建、マンション、公社、公団、公営住宅、給与住宅、アパート、間借り
構 造	平屋建、N階建
専用居室の有無	N畳・無、方角（北・南・東・西）、階（N階）、暖房設備（有・無）、玄関までの段差（多・少・無）
台所までの段差	多・少・無
便 所	便所の手すり（有・無）、和式・洋式・その他、便所の段差（有・無）
浴 室	自宅にあり・もらい湯・公衆浴場、浴室の手すり（有・無）、浴室の段差（有・無）
台 所	（有・無）、沸かし器（有・無）、冷蔵庫（有・無）
電 話 そ の 他	（有・無）、洗濯機（有・無）、就寝（畳・ベッド）、騒音（有・無）、住環境での留意点、住居見取り図（オプション）
緊急連絡先	病院・医院名と電話番号、親戚等の氏名と電話番号、役所の福祉課

## (3) 日常生活動作判定スケール（ADL情報）

要介護者の身体状況評価項目で有り、ケアプラン策定の重要な指標となる。ホームヘルパーにより日々報告される身体情報と共に、日常生活の観察結果（ボディチェック項目）と合わせ要介護者の状況に大幅な変化が見受けられた場合、ケアプランの変更が必要となる。

表3-3 日常生活動作判定スケール

観 察 項 目	判断基準 1～5 数字で評価
歩 行（屋外）	1. 普通 2. ゆっくりなら歩ける 3. 物につかまって歩ける 4. はって歩く 5. 移動不能
歩 行（屋内）	1. 普通 2. ゆっくりなら歩ける 3. 物につかまって歩ける 4. はって歩く 5. 移動不能
階 段 昇 降	1. 普通 2. ゆっくりなら歩ける 3. 物につかまって歩ける 4. はって歩く 5. 移動不能

立 位	1. 普通 2. なんとか自分で立てる 3. 一部介助ば できる 4. 介助されて立てる 5. 全面介助必要
ね が え り	1. 普通 2. なんとか自分でできる 3. 一部介助 すればできる 4. かなり手助けをすればできる 5. 全面介助
衣 服 着 脱	1. 普通 2. できるが遅い 3. 一部介助すればでき る 4. かなり介助すればできる 5. 全面介助
食 事	1. 普通 2. ほぼ自分で食べられるが遅い 3. 一部 介助すればできる 4. かなり介助すればできる 5. 全面介助
排泄 (小便)	1. 普通 2. 便所に行くのが遅い 3. かるうじて自 分でする 4. (便器) 介助を要する 5. 失禁 (常時 おむつ使用)
排泄 (大便)	1. 普通 2. 便所に行くのが遅い 3. かるうじて自 分でする 4. (便器) 介助を要する 5. 失禁 (常時 おむつ使用)
入 浴	1. 普通 2. ほぼ自分でできるが遅い 3. 一部介助 すればできる 4. かなり介助すればできる 5. 全面介助
視 力	1. 普通 2. 細かい字があればスラスラ読めない 2. 1mぐらい離れていて誰か分かる程度 4. ほとん ど見えない 5. まったく見えない
聴 力	1. 普通 2. 補聴器使用でほぼ普通に会話ができる 3. 大きい声でないと会話できない 4. 耳元で大きな 声でいわないとわからない 5. まったく聞こえない
意 志 表 示	1. 普通 2. 大体できるが不完全 3. かるうじてで きるが不完全 4. 基本的な要求のみ可能 5. 不能
話 の 了 解	1. 普通 2. 大体できるが不完全 3. かるうじて了 解 4. まれに了解 5. 不能
洗 濯	1. 普通 2. できるが遅い 3. 一部介助すればでき る 4. かなり介助すればできる 5. 全面介助必要
買 い 物	1. 普通 2. できるが遅い 3. 一部介助すればでき る 4. かなり介助すればできる 5. 全面介助必要
炊 事	1. 普通 2. できるが遅い 3. 一部介助すればでき る 4. かなり介助すればできる 5. 全面介助必要
掃 除	1. 普通 2. できるが遅い 3. 一部介助すればでき る 4. かなり介助すればできる 5. 全面介助必要
電 話	1. 普通 2. 大体できるが不完全 3. かるうじてで きるが不完全 4. 基本的なことのみ可能 5. 不能

金 銭 管 理	1. 普通 2. 大体できるが不完全 3. かろうじてできるが不完全 4. 基本的なことのみ可能 5. 不能
服 薬	1. 普通 2. 大体できるが不完全 3. かろうじてできるが不完全 4. 基本的なことのみ可能 5. 不能
整 容	1. 普通 2. 大体できるが不完全 3. かろうじてできるが不完全 4. 基本的なことのみ可能 5. 不能

#### (4) ボディチェック (身体観察チェック)

訪問時ホームヘルパーが要介護者を観察にする事により、外面から身体状況判断することにより、状況変化をチェックする指標として利用する。

1～5の数字で入力しデータベースに蓄積する事により、身体状況の変化を判断する。

表3-4 身体チェック項目

洗 顔	1. 出来ている 3. たまたま忘れ 5. していない
着 替	1. 出来ている 3. たまたま忘れた 5. していない
食 事	1. 普通に出来る 3. 箸やスプーンをうまく持てない、又はよく落とす 5. 介助しないと出来ない
動作	1. 普通 3. 生活の動作が少ない 4 動作が緩慢 5. 異常
失禁	1. 普通 3. いつもより多い 5. おむつが必要
服装	1. 正常 3. 着こなしが変 5. 乱れている

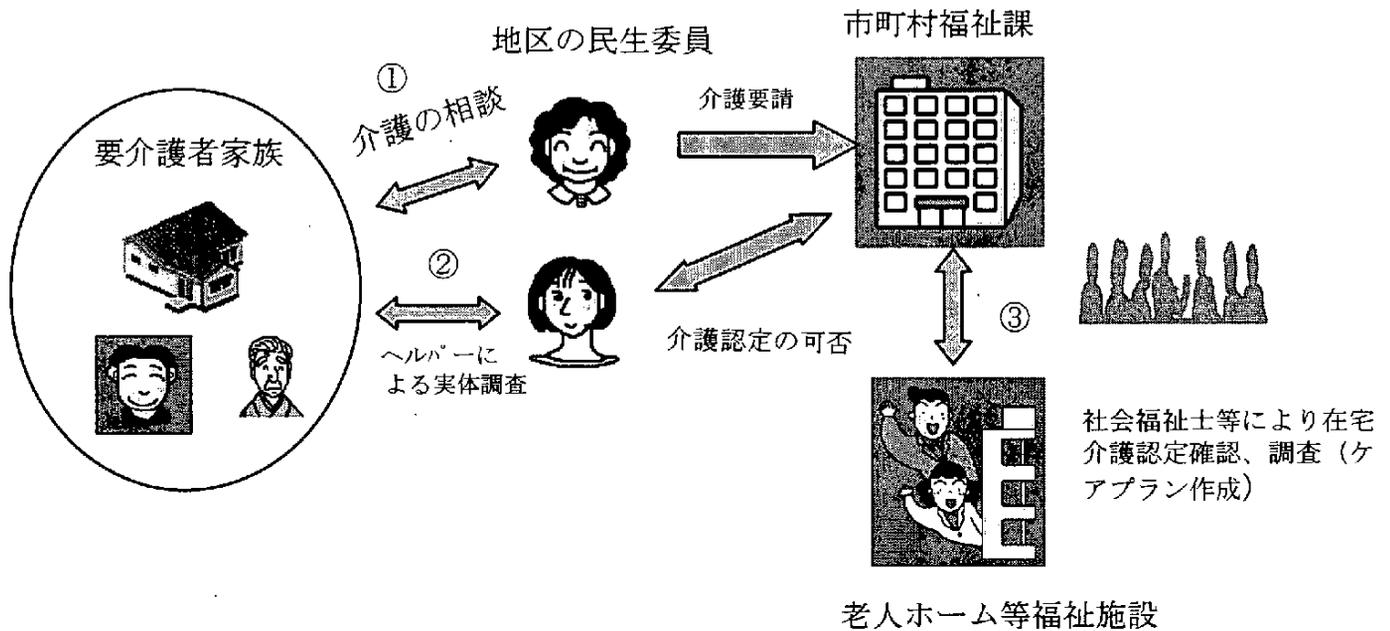
#### (5) 記録情報 (文書入力)

要介護者からの要望を文書形式で入力する。又ヘルパーからスタッフへの要望、次回訪問時の申し送り事項を入力する

文書もデータベースの蓄積により、固定化された項目で判断出来る為入力は文書メニューを選ぶ事により行える。

### 3. 2 在宅介護の要請から介護支援開始までの流れ（公的機関利用の場合）

- ① 介護家族からの介護支援要請は、地区の民生委員を通じ自治体の福祉課にてまとめられる。
- ② 自治体より要請を受けたヘルパーが介護者宅を訪問し、実体調査を行い報告する。
- ③ 専門家による検討結果介護認定レベルが認定されると介護計画（ケアプラン）が作成され在宅介護支援が開始される。



### 3. 3 在宅介護データベース利用の流れ

- ① 介護認定者の生活環境及び、支援作業に関する情報収集を行い基礎情報の登録を行う。
- ② 認定された介護計画（ケアプラン）登録する。
- ③ 介護担当するホームヘルパーのスケジュール調整及び、登録作業。

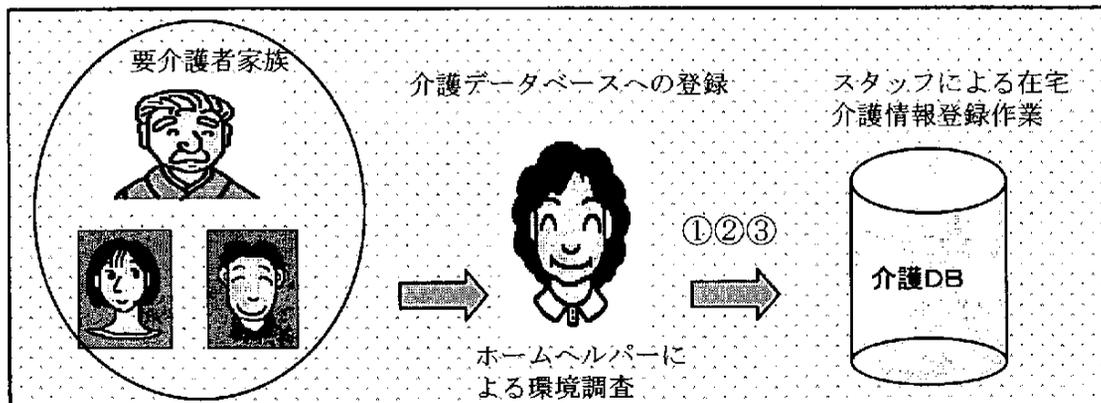


図 3-2 介護データベース登録

- ④ ホームヘルパーは訪問介護開始前に各自の携帯端末にてセンターのデータベースにアクセスし、1日の訪問計画、作業指示データ等の個人別データを受け取り各家庭を訪問し介護作業を行う。
- ⑤ 各家庭を訪問介護作業完了時点で携帯端末に、チェック項目、作業結果、要望事項等をペンタッチで入力する。
- ⑥ 1日の訪問計画が終了した時点で携帯端末のデータをセンターのデータベースに送信する。
- ⑦ センター側はホームヘルパーのデータより、ヘルパーの活動日報出力、要介護者の身体状況を更新する。
- ⑧ 要介護者からの要望事項、引継事項はそのまま記録され、次回訪問時に作業指示事項として引き継がれ連絡ミスを防止する。
- ⑨ 各種資料はデータベース内の情報にて出力され事務処理の効率アップを計る。
- ⑩ 継続された身体状況データは、医療機関との連携により医療行為を行う上で重要な基礎資料として利用出来る。
- ⑪ 要介護者からの要望事項等は、今後の在宅介護サービス向上を検討する上で貴重な情報として利用出来る。

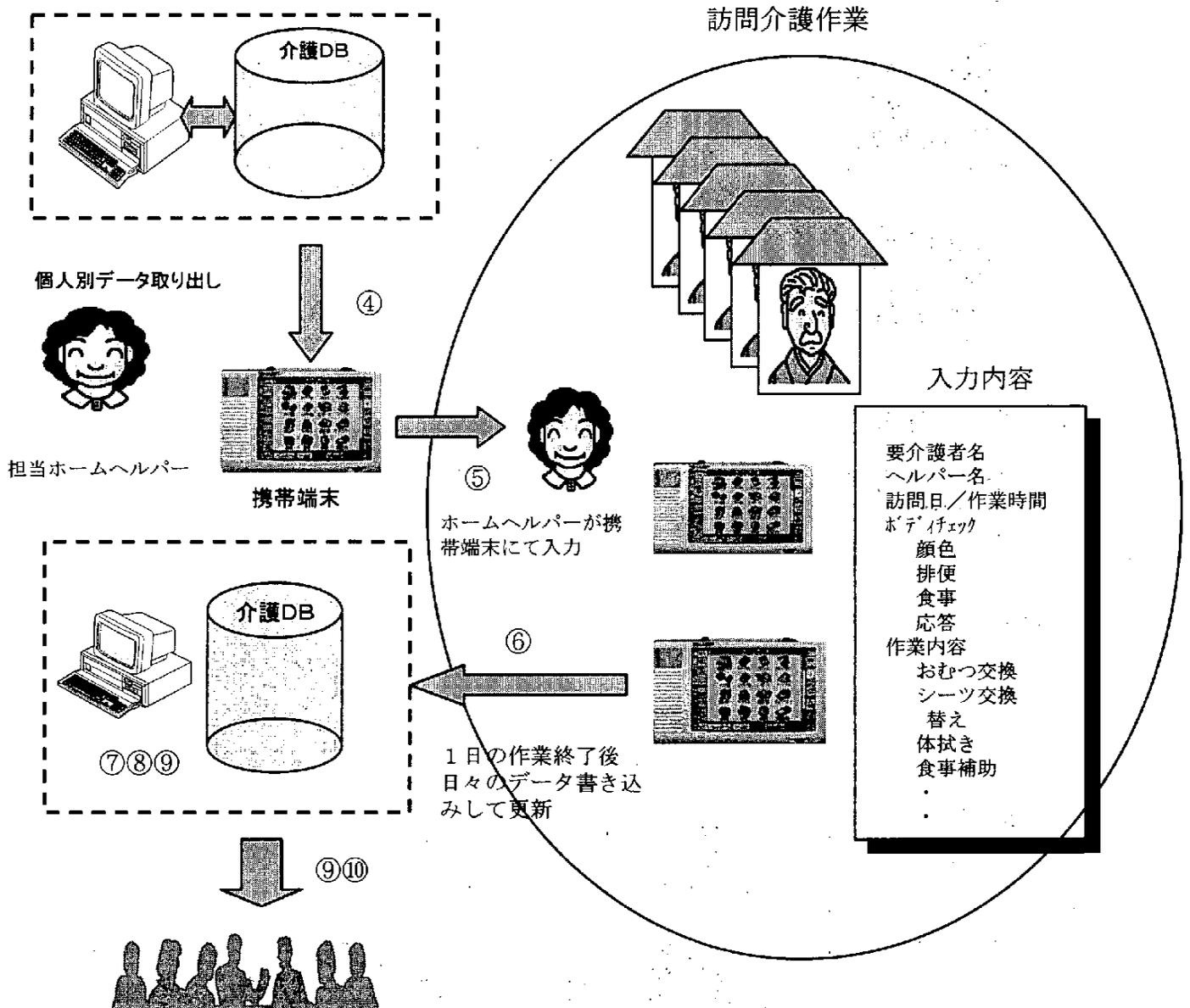


図 3-3 データベースの運用図

### 3. 4 システム構成

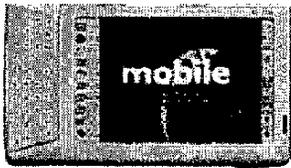
#### (1) 介護センター側

- ・ DOS/V仕様パーソナルコンピュータ (Windows 9.5モデル)
- ・ ハードディスク 2. 1GB以上 (データベースの情報量により増減する)
- ・ 必要ソフト  
 Microsoft社製 Windows 9.5、Access 9.5  
 シャープ (株) 製 MI-504,6 (パワーザウルス) 添付ソフト  
 (株) フォワード社製 パッケージソフト一式
- ・ プリンター  
 A4サイズ印刷可能な機種を選択

#### (2) 携帯端末

- ・ 携帯端末

シャープ (株) 製パワーザウルス  
(フルカラー表示可能)



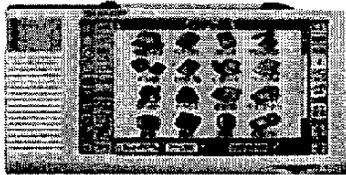
MI-504  
MI-506 (メモリー内蔵)

定 価  
100,000-  
130,000-



MI-506DC (デジタルカメラ付)

168,000-



ザウルスポケット (白黒モード)  
MI-110M (メモリー内蔵 7.0MB)  
MI-106M (メモリー内蔵 3.1MB)  
MI-106 メモリー無し 3.1MB

83,000-  
75,000-  
62,000-

携帯端末は外勤のホームヘルパーの人数分用意する必要があるため、初期導入時に予算により機種及び台数は考慮する必要がある。

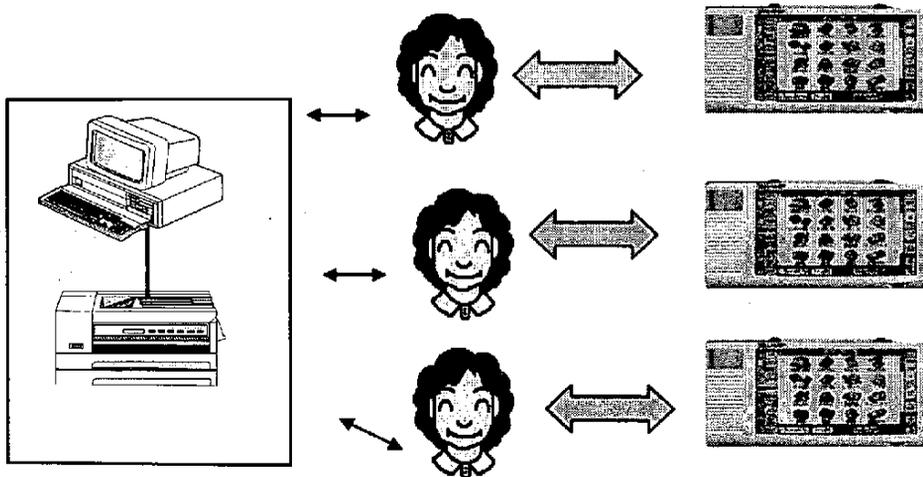


図 3-4 機器構成図

### 3.5 データベース機能構成

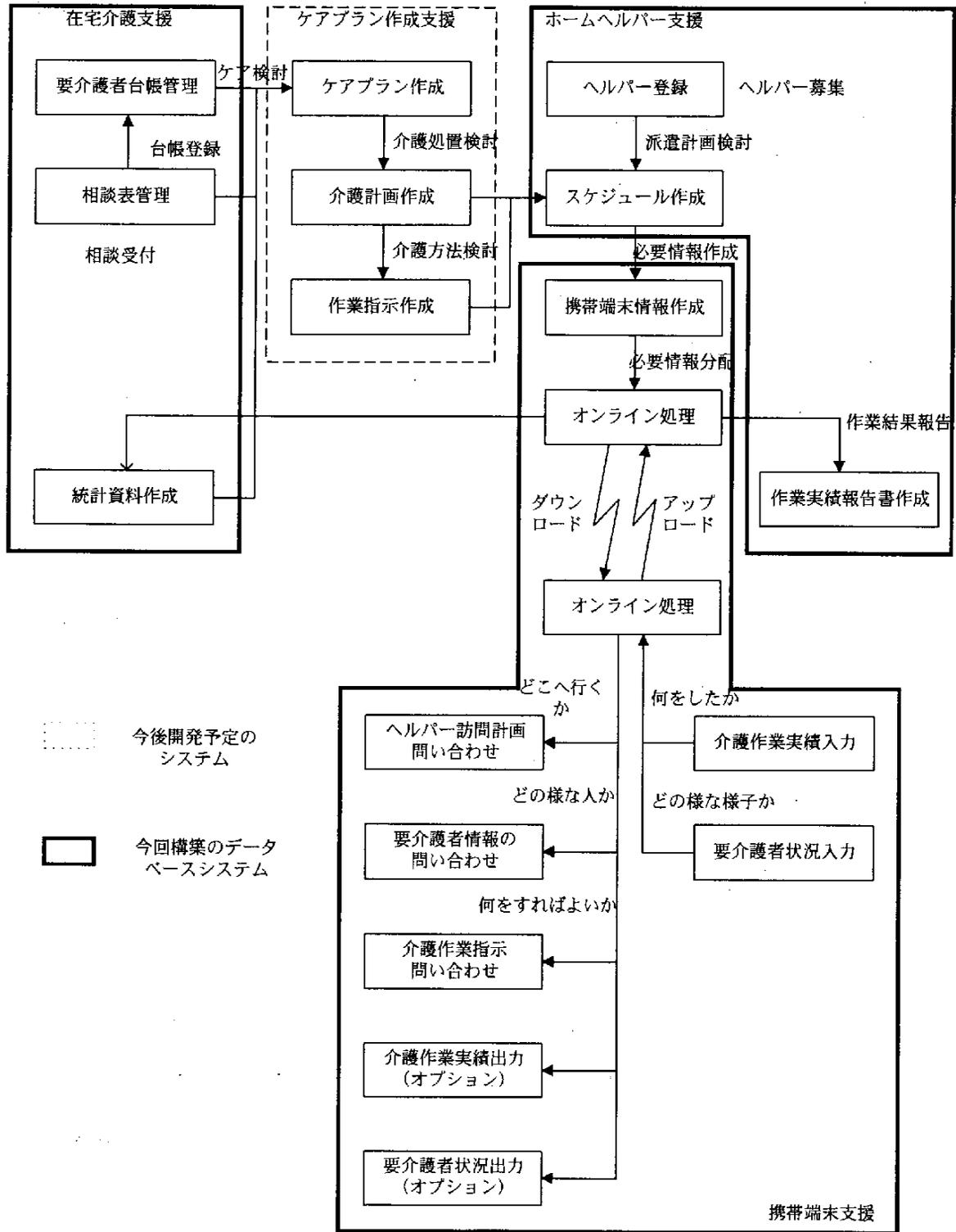


図3-5 データベース機能構成図

### 3. 6 運用テスト概要

今回開発のシステムを、検討委員会を通じて紹介された介護支援グループの事務局に持ち込み、ホームヘルパー諸氏から実運用上での問題点を洗い出す運用テストを実施した。

#### (1) 運用テスト用持ち込み機材

パソコン1台

携帯端末（シャープ（株）製パワーザウルス） 2台

#### (2) テスト項目

- ① データベース項目は実運用上必要な項目を包含しているか？。
- ② センターパソコンの操作性は十分考慮されているか？。
- ③ 携帯端末のメニュー体系は十分な項目を包含しているか？。
- ④ 携帯端末の操作性は、実担当者が使いこなせるレベルまで考慮されているか？。

#### (3) テスト方法及び評価結果

マスター項目は数人の実名を登録し、1週間テストしてもらい結果をヒアリングした。

- ① センターパソコンの入力及び、項目は基本的な事はほぼ満足するが項目追加要請も多々ある。
- ② 携帯端末を初めて扱うので操作がうまく行かず、センターへのデータ更新までは出来なかった。
- ③ 携帯端末を使っているうち画面が戻らず操作をやめた。
- ④ 項目が少なく報告書で書くようなことが出来ない。

#### (4) 実施結果をふまえての対策

- ① センター側のデータベース項目は、複数の施設等でテストした結果で再検討する事で、今回は修正及び手直しは行わない。
- ② 携帯端末のプログラムについては、メーカーにも協力を仰ぎ情報収集して再度目標を平成10年3月中旬をめどに設計からやり直す。
- ③ 3月下旬には再度持ち込みテスト運用開始する事で了承してもらう。

#### 4. 今後の課題

在宅介護の分野は、国の制度として介護保険法案がようやく成立した段階で、個々の細かな施策については統一された基準が明確に確立されていない段階である。

又、ホームヘルパーの処遇を含めた介護環境整備面も、まだ本格的な議論が行われておらず、完全なデータベースシステムとして確立する事は困難な状況であった。

今回、研究構築したデータベースの扱い項目は関連文献等より洗い出し、現場担当者等にヒアリングした結果でまとめているが、実団体の試行運用等により、より実情に即したデータベース構築及びシステム構築が必要であると痛感している。

又、同時に各種大手企業との先行した営業面からのコンタクトの所感から、今後発展拡大の要素を含んだ市場で有る事も感じられ次のように結論づけた。

##### (1) 試行運用結果からの検討

さらに複数の介護団体に無償の試行運用を依頼し、項目内容の検討を行ない結果を基に項目修正行って、商品評価バージョンの開発を完了する予定である。

##### (2) ビジネス計画

初期導入費用については、ホームヘルパーの人数分の携帯端末を購入する必要がある為、出来るだけ安価な携帯端末を推奨する必要がある。

現在、大手コンピュータメーカー、製薬メーカー、大手生保会社等に介護パッケージとしてアプローチ中で有り、案件としては特別養護老人ホームに平成10年9月をめぐりに導入予定との内示を受けている。

##### (3) 今後のビジネス展望

製薬会社、生保会社へのアプローチ結果から判断すると、介護法案の成立を受けて各社とも「在宅介護分野」への市場参入に積極的であるとの感触を受けた。

大手企業との販売支援体制は販売拡大戦略上為不可欠要素であり、今後当商品を足掛かりに更なる在宅介護商品の開発を計ってゆくつもりである。



添付資料 高齢者在宅介護支援システム設計書

## 高齢者在宅介護支援システム

### 機能一覧

#### 1. 在宅介護支援

大分類	機能	概要
要介護者台帳管理	要介護者情報入力	要介護者の基本情報、精神・身体情報、ADL、住宅環境、緊急連絡先、介護の状況、介護の問題点、家族関係の入力を行う
	要介護者情報出力	要介護者の基本情報、精神・身体情報、ADL、住宅環境、緊急連絡先、介護の状況、介護の問題点、家族関係の帳票出力を行う（要介護者別、要介護者一覧）
	介護者の情報入力	介護者の基本情報の入力を行う
	介護者の情報出力	介護者の基本情報の帳票出力を行う
	相談者の情報入力	相談者の基本情報の入力を行う
	相談者の情報出力	相談者の基本情報の帳票出力を行う
相談票管理	相談票入力	相談表の情報の入力を行う
	相談票出力	相談表の帳票出力を行う
統計資料作成	要介護者状態管理	要介護者のADLの変化をグラフ出力する
	相談件数の把握	相談の件数をグラフ出力する

#### 2. ケアプラン作成支援

大分類	機能	概要
介護計画作成	週間プラン入力	要介護者単位に一週間にどんな予定があるかスケジューリングし、画面から入力する。入力方法は埋め込み式。
ケアプラン作成	ケアプラン入力	スタッフが検討したケアプランを画面から入力する
作業指示作成	作業指示入力	画面上の介護項目から指示内容を選択し入力する

#### 3. ホームヘルパー支援

大分類	機能	概要
スケジュール作成	スケジュール入力	ヘルパー毎のスケジュール画面で入力を行う。入力方法は埋め込み式でコピー機能を設ける。
実績報告書作成	日報出力	作業日報を帳票出力する。（ヘルパー単位、要介護者単位、施設単位）
	月報出力	介護作業の月毎の集計結果を帳票出力する。（ヘルパー単位、要介護者単位、施設単位）
ヘルパー登録	ヘルパー情報入力	ヘルパー情報を入力する（氏名、生年月日、資格、介護パターンなど）
	ヘルパー情報出力	ヘルパー情報を帳票出力する（ヘルパー情報、ヘルパー一覧）

## 高齢者在宅介護支援システム

### 機能一覧

#### 4. 携帯端末支援（センター側）

大分類	機能	概要
携帯端末情報作成	要介護者情報作成	携帯端末へのダウンロード用に要介護者の基本情報、精神・身体情報、ADL、住宅環境、緊急連絡先、介護の状況、介護の問題点、家族関係などのデータを作成する
	作業指示情報作成	ケアプラン作成支援から作業指示情報を取り出しダウンロード用データを作成する
	ヘルパー情報作成	ヘルパー毎のスケジュールダウンロード用データを作成する
オンライン処理	ダウンロード	携帯端末に作業指示などのデータをダウンロードする
	アップロード	携帯端末からのデータをアップロードする

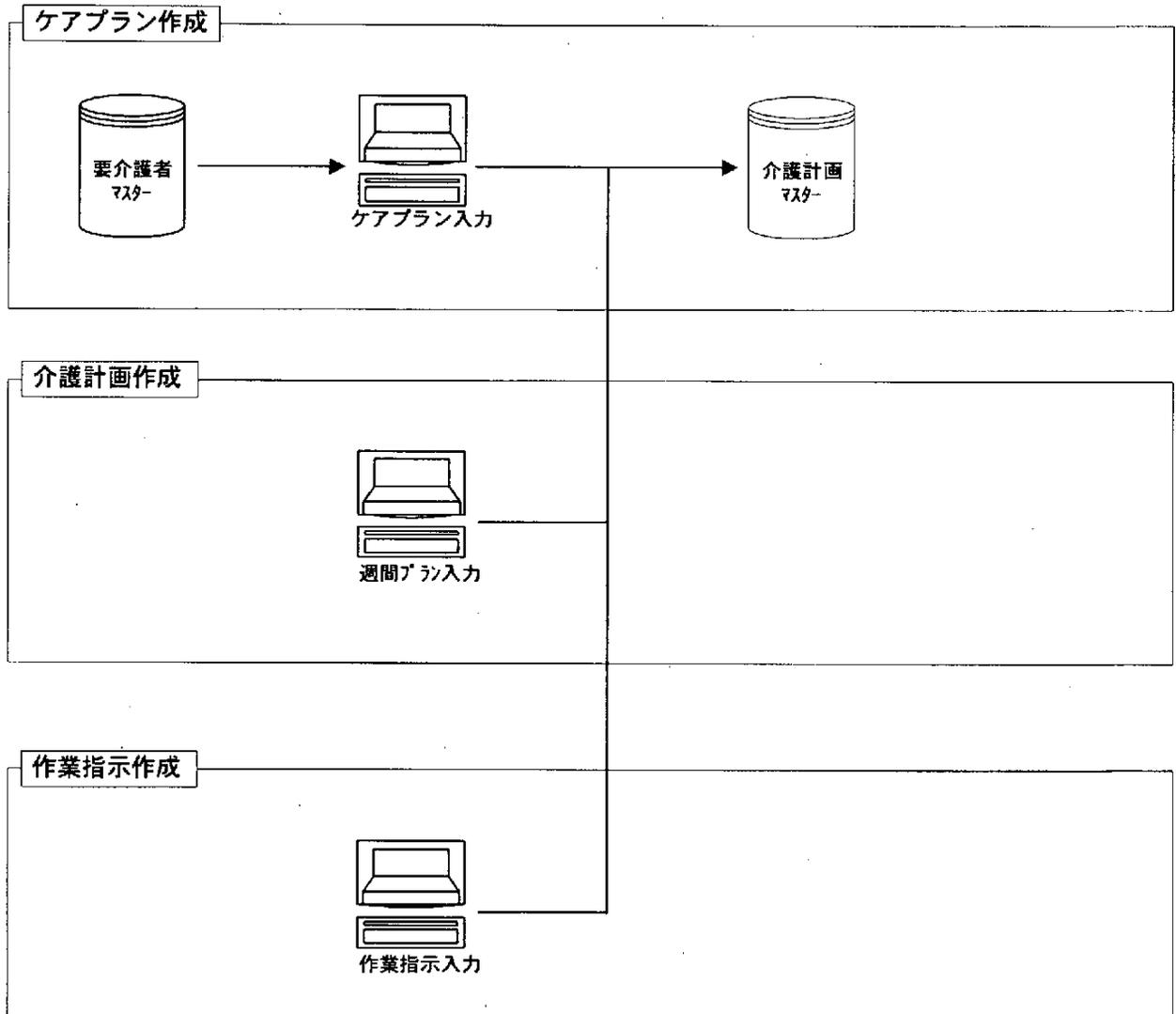
#### 5. 携帯端末支援（携帯端末側）

大分類	機能	概要
オンライン処理	ダウンロード	センター側から作業指示などのデータをダウンロードする
	アップロード	携帯端末からのデータをアップロードする
ヘルパー訪問計画 問い合わせ	当日計画問い合わせ	当日の訪問スケジュール携帯端末の画面に表示する
	週間計画問い合わせ	週間の訪問スケジュールを携帯端末の画面に表示する
要介護者情報の問い合わせ	基本情報問い合わせ	要介護者の基本情報を携帯端末の画面に表示する
	履歴問い合わせ	要介護者のADLの変化などを携帯端末の画面に表示する
	介護計画問い合わせ	要介護者の介護計画を携帯端末の画面に表示する
介護作業指示問い合わせ	作業指示問い合わせ	要介護者別のヘルパーへの作業指示項目を携帯端末の画面に表示する
介護作業実績入力	活動記録入力	訪問日時、作業開始時間、終了時間、移動時間などを携帯端末から入力する
要介護者状況入力	チェック項目入力	ヘルパー訪問時の要介護者宅及び要介護者の状況を5段階評価、2者択一で携帯端末から入力する
要望入力	要介護者要望入力	要介護者からの介護に関する要望を携帯端末から手書きで入力する
	家族からの要望入力	要介護者の家族からの介護に関する要望を携帯端末から手書きで入力する
	ヘルパー要望入力	ヘルパーからの要望を携帯端末から手書きで入力する
その他入力	住居見取り図入力	要介護者宅の屋内、屋外の見取り図を携帯端末から手書きで入力する
	申し送り事項入力	懸案事項等、次回訪問予定のヘルパーへの申し送り事項を入力する
介護作業実績出力 (オプション)	訪問記録出力	ヘルパー名、訪問日時、作業開始終了時間などを訪問記録として帳票出力する
	作業記録出力	作業指示項目、作業実施状況を帳票出力する
要介護者状況出力 (オプション)	状態変化出力	要介護者のポディーチェック項目をグラフ化し帳票出力する
その他出力 (オプション)	申し送り事項出力	懸案事項等、次回訪問予定のヘルパーへの申し送り事項を帳票出力する

# 高齢者在宅介護支援システム

## ブロック関連図

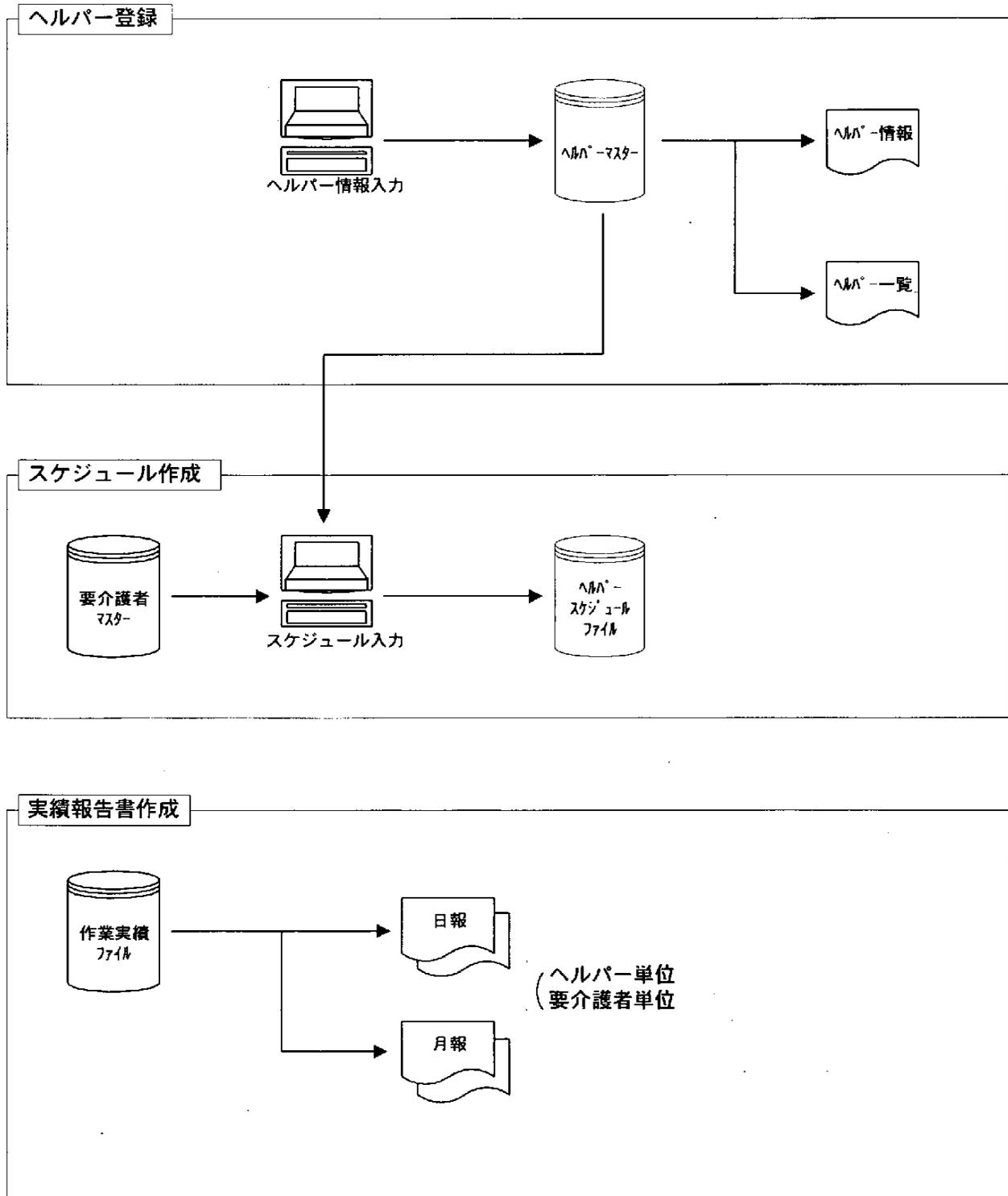
### ・ケアプラン作成支援



# 高齢者在宅介護支援システム

## ブロック関連図

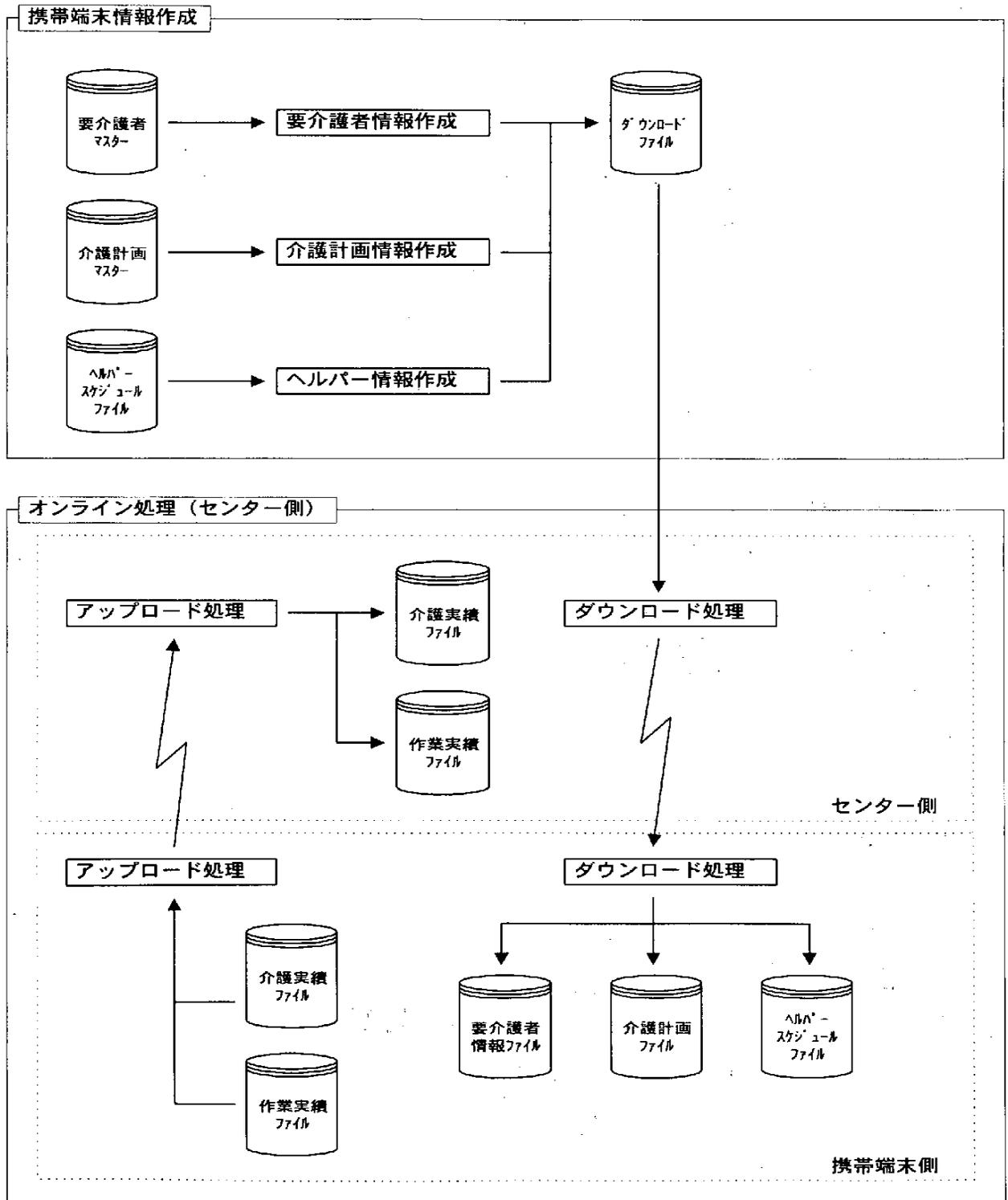
### ・ホームヘルパー支援



# 高齢者在宅介護支援システム

## ブロック関連図

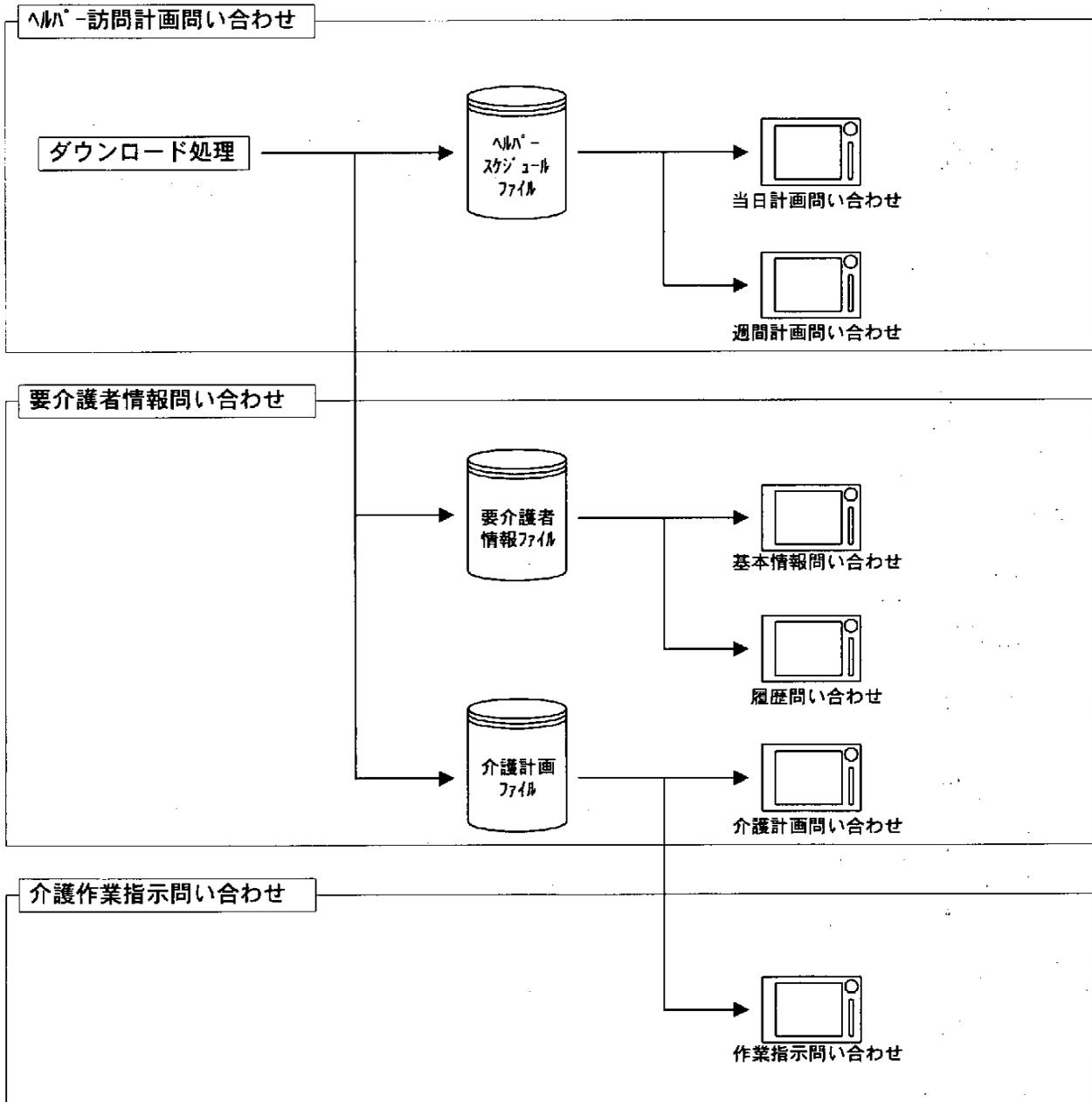
### ・携帯端末支援



# 高齢者在宅介護支援システム

## ブロック関連図

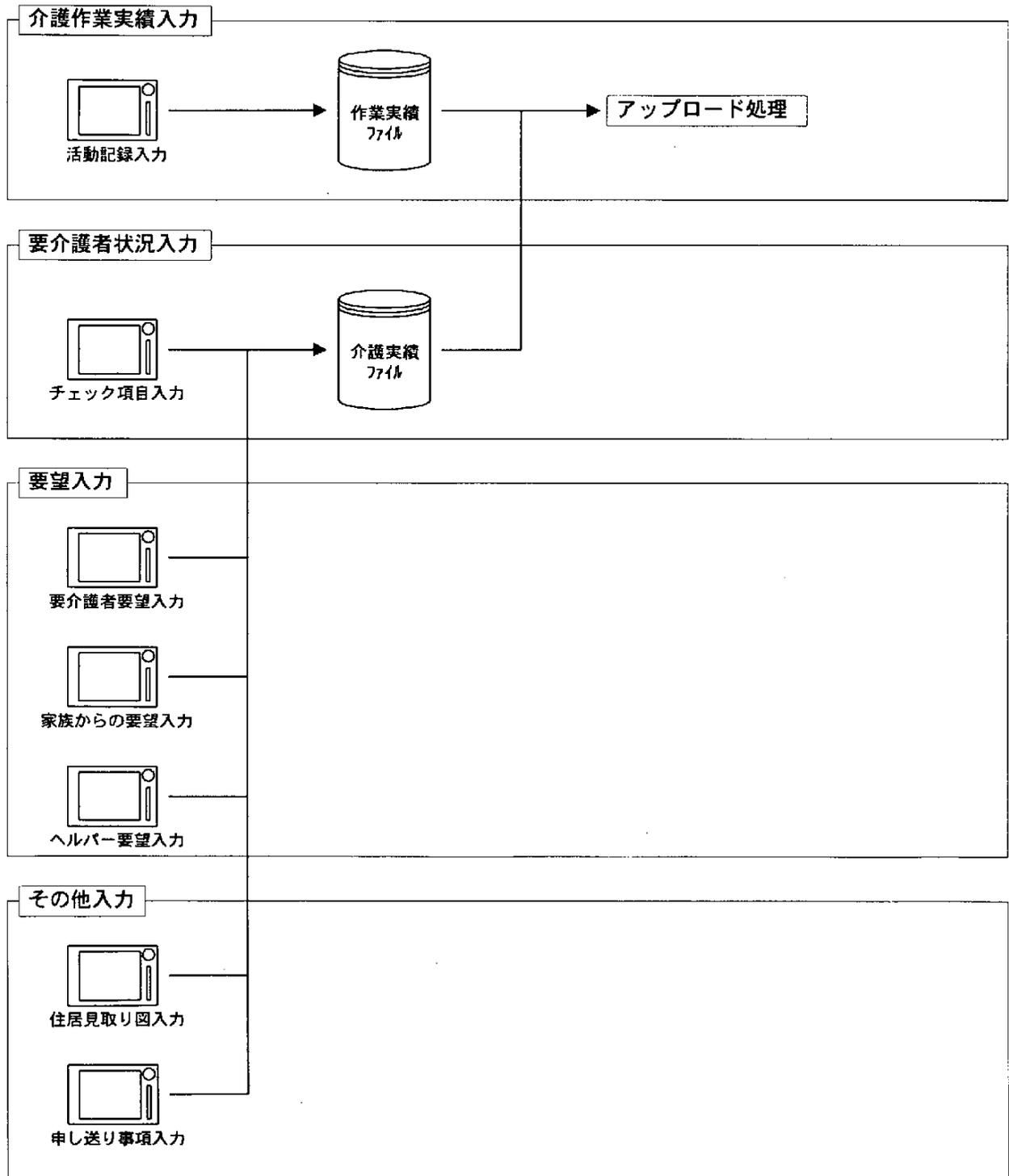
### ・携帯端末支援(携帯端末側)



# 高齢者在宅介護支援システム

## ブロック関連図

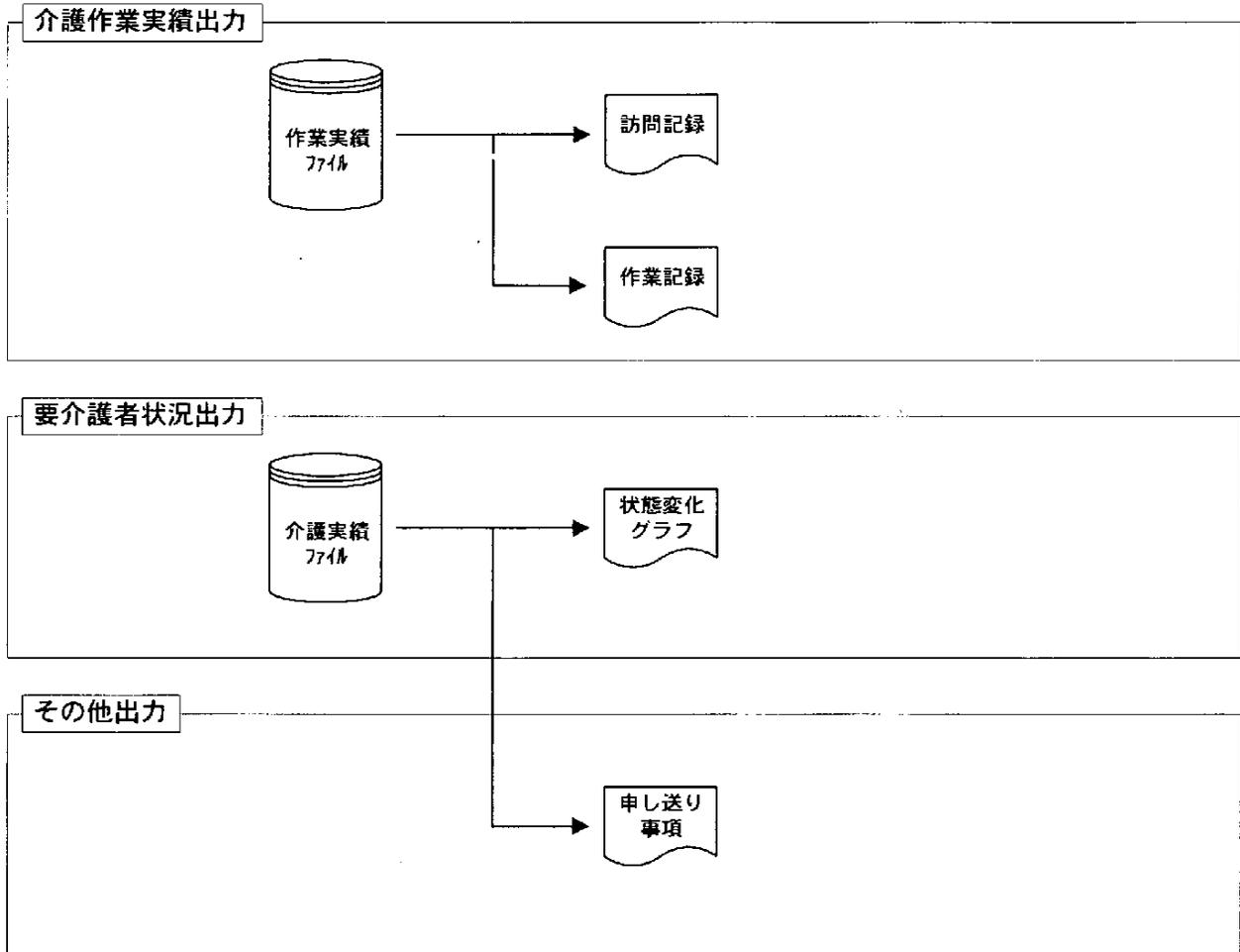
### ・携帯端末支援(携帯端末側)



# 高齢者在宅介護支援システム

## ブロック関連図

### ・携帯端末支援(携帯端末側)



区分マスター定義

1/2

種類	大分類	小分類	項目名	種類	大分類	小分類	項目名
性別	001	0	男性	別同居	016	0	同居
	001	1	女性		016	1	別居
配偶者有無	002	0	無	援助時間	017	0	在宅時はいつも
	002	1	有		017	1	平日のみ
	002	2	未婚		017	2	土日祝日
	002	3	死別	介護負担度	018	0	普通
生計状況	003	0	生活保護		018	1	軽い
	003	1	年金のみ	018	2	重い	
	003	2	生計中心者	勤務	019	0	常勤
同一生計世帯者 間柄	004	0	長男		019	1	非常勤
	004	1	次男	支援の必要性	020	0	いつも
	004	2	三男		020	1	時々
	004	3	長女		020	2	土日祝日
	004	4	次女	情報	021	0	必要である
004	5	三女	021		1	十分	
職業	005	0	無職	機関	022	0	診療所
	005	1	会社員		022	1	病院
有無	006	0	無		022	2	老健
	006	1	有		022	3	保健所
都道府県別	007	0	東京都		022	4	在宅支援センター
介護訪問頻度	008	0	1/日		022	5	医師
	008	1	1/週		022	6	PHN
	008	2	1/月		022	7	Nrs
N式スケール 評価	009	0	正常		022	8	MSW
	009	1	境界		022	9	PT
	009	2	軽症痴呆	介護パターン (活動可能)	023	0	滞在型
	009	3	中等症痴呆		023	1	巡回型
	009	4	重傷痴呆		023	2	両方
要介護者 認定ランク	010	0	軽度介護認定	介護できる種類	024	0	身体介助
	010	1	中度介護認定		024	1	家事援助
	010	2	重度介護認定	介護可能時間帯 (滞在型)	025	0	昼間
住居状況	011	0	一戸建て		025	1	午前のみ
	011	1	マンション		025	2	午後のみ
	011	2	公社		025	3	夜間
	011	3	公団	介護可能時間帯 (巡回型)	026	0	昼間
	011	4	公営住宅		026	1	早朝夜間
	011	5	給与住宅	026	2	深夜	
	011	6	アパート	ヘルパー資格	027	0	1級ヘルパー
011	7	間借り	027		1	2級ヘルパー	
方角	012	0	東	相談方法	028	0	面接
	012	1	西		028	1	電話
	012	2	南		028	2	手紙
	012	3	北		028	3	訪問
段差	013	0	無	新規・継続	028	4	その他
	013	1	多		029	0	新規
	013	2	少		029	1	継続
便所	014	0	和式	心身の状況	030	0	寝たきり
	014	1	洋式		030	1	痴呆
浴室	015	0	自宅にあり		030	2	虚弱
	015	1	もらい湯		030	3	その他
	015	2	公衆浴場				



## ADL区分マスター定義

1/2

種類	大分類	小分類	項目名	種類	大分類	小分類	項目名
歩行(屋外)	001	01	普通	入浴	010	01	普通
		02	ゆっくりなら歩ける			02	ほぼ自分でできる
		03	物に捉まって歩ける			03	一部介助
		04	はって歩く			04	かなり介助
		05	移動不能			05	全面介助
歩行(屋内)	002	01	普通	視力	011	01	普通
		02	ゆっくりなら歩ける			02	スラスラ読めない
		03	物につかまって歩ける			03	誰かわかる程度
		04	はって歩く			04	ほとんど見えない
		05	移動不能			05	まったく見えない
階段昇降	003	01	普通	聴力	012	01	普通
		02	ゆっくりなら歩ける			02	補聴器で会話ができる
		03	物につかまって歩ける			03	大きい声で会話
		04	はって歩く			04	耳元で大きい声で会話
		05	移動不能			05	まったく聞こえない
立位	004	01	普通	意志表示	013	01	普通
		02	何とか自分で立てる			02	大体できるが不完全
		03	一部介助			03	かろうじてできる
		04	介助されて立てる			04	基本的な要求のみ可能
		05	全面介助			05	不能
寝返り	005	01	普通	話の了解	014	01	普通
		02	何とかできる			02	大体できるが不完全
		03	一部介助			03	かろうじて了解
		04	かなり手助け必要			04	まれに了解
		05	全面介助			05	不能
衣服着脱	006	01	普通	洗濯	015	01	普通
		02	できるが遅い			02	できるが遅い
		03	一部介助			03	一部介助
		04	かなり介助			04	かなり介助
		05	全面介助			05	全面介助
食事	007	01	普通	買い物	016	01	普通
		02	ほぼ自分で食べられる			02	できるが遅い
		03	一部介助			03	一部介助
		04	かなり介助			04	かなり介助
		05	全面介助			05	全面介助
排泄(小便)	008	01	普通	炊事	017	01	普通
		02	便所に行くのが遅い			02	できるが遅い
		03	かろうじて自分でする			03	一部介助
		04	介助を要する			04	かなり介助
		05	失禁(常時おむつ)			05	全面介助
排泄(大便)	009	01	普通	掃除	018	01	普通
		02	便所に行くのが遅い			02	できるが遅い
		03	かろうじて自分でする			03	一部介助
		04	介助を要する			04	かなり介助
		05	失禁(常時おむつ)			05	全面介助



## 精神・身体状況区分マスター定義

1/1

種類	大分類	小分類	項目名	種類	大分類	小分類	項目名
幻覚	001	01	幻覚無	外出迷子	017	01	外出迷子無
		02	幻覚有			02	外出迷子有
妄想	002	01	妄想無	徘徊	018	01	徘徊無
		02	妄想有			02	徘徊有
物忘れ	003	01	物忘れ無	感情障害	019	01	感情障害無
		02	物忘れ有			02	感情障害有
失見当識	004	01	失見当識無	夜間行動異常	020	01	夜間行動異常無
		02	失見当識有			02	夜間行動異常有
失認	005	01	失認無	麻痺	021	01	麻痺無
		02	失認有			02	麻痺有
意識障害	006	01	意識障害無	拘縮	022	01	拘縮無
		02	意識障害有			02	拘縮有
自殺企画	007	01	自殺企画無	褥瘡	023	01	褥瘡無
		02	自殺企画有			02	褥瘡有
攻撃暴力	008	01	攻撃暴力無	動機息切れ	024	01	動機息切れ無
		02	攻撃暴力有			02	動機息切れ有
性的異常行動	009	01	性的異常行動無	動機息切れ	025	01	動機息切れ無
		02	性的異常行動有			02	動機息切れ有
不潔行為	010	01	性的異常行動無	便秘	026	01	便秘無
		02	性的異常行動有			02	便秘有
奇声を上げる	011	01	奇声を上げる無	失禁	027	01	失禁無
		02	奇声を上げる有			02	失禁有
過食	012	01	過食無	外傷	028	01	外傷無
		02	過食有			02	外傷有
蒐集癖	013	01	蒐集癖無	家族とのコミュニケーション	029	01	良い
		02	蒐集癖有			02	普通
乱買	014	01	乱買無			03	悪い
		02	乱買有			04	全くない
弄火	015	01	弄火無				
		02	弄火有				
虚言	016	01	虚言無				
		02	虚言有				

作業指示区分マスター定義

1/1

種類	大分類	小分類	項目名	種類	大分類	小分類	項目名		
食事	001	01	献立作成	精神的援助	006	01	話し相手		
		02	調理			02	心理的援助		
		03	食事介助			03	生活上の助言		
		04	後片付け			04	情報提供		
		05	水分補給			007	01	服薬管理	
		06	間食				02	心理的援助	
清潔	002	01	洗面	受診・通院	008	01	往診医・専門医の紹介		
		02	歯磨き			02	通院介助		
		03	口腔清掃			03	通院付き添い		
		04	洗浄			04	薬の受け取り		
		05	洗髪			009	05	医師への病状説明	
		06	全身清拭				01	換気	
		07	手足浴			住居	02	室温	
		08	陰部清掃				03	日当たり調整	
		09	入浴介助				04	整理・整頓	
		10	入浴付き添い				05	居室内清掃	
		11	髭剃り				06	台所清掃	
		12	爪切り				07	ゴミ出し	
		13	耳掃除				010	01	買い物
		14	髪の手入れ					02	手続き代行
		15	浴槽清掃					03	金銭管理
		16	湯張り					01	社会福祉事務所
排泄	003	01	おむつ交換	関係機関への 連絡	011	02	社協		
		02	尿びんのお使用			03	在宅福祉サービス		
		03	ベッド上排泄介助			04	保健所		
		04	ポータブルトイレ介助			05	訪問看護ステーション		
		05	トイレ誘導						
リハビリ	004	01	体位交換						
		02	座位保持						
		03	移動介助						
		04	立位訓練						
		05	歩行訓練						
		06	拘縮予防間接屈伸訓練						
		07	散歩介助						
		08	通所介助						
		09	言語訓練						
		10	レクリエーション						
		11	アクティビティ						
寝具・衣服	005	01	寝衣・シーツ交換						
		02	衣類脱着の介助						
		03	洗濯						
		04	洗濯取り入れ						
		05	洗濯整理						
		06	縫い物						
		07	アイロンがけ						
		08	布団干し						

要介護者ID	ID000001	山田 太郎	参照	修正	
氏名(漢字)	山田 太郎				
氏名(カナ)	ヤマタ タロウ				
性別	0:男性	生年月日	1915/02/01	年齢	83 歳
郵便番号	454-0012	参照			
住所1	名古屋市中川区尾頭橋4-13-7				
住所2	nabi 金山205号				
電話番号	052-331-2776				
世帯構成	別居の娘2人				
配偶者有無	3:死別				
生計状況	1:年金のみ				
<input type="button" value="F1:終了"/> <input type="button" value="F3:次頁"/> <input type="button" value="F4:印刷"/> <input type="button" value="F5:削除"/> <input type="button" value="F7:取消"/> <input type="button" value="F8:確定"/>					

基本台帳登録画面

要介護者ID	ID000001	山田 太郎	参照	修正	
<b>介護者情報</b>					
氏名(漢字)	山田 花子				
氏名(カナ)	ヤマタ ハナコ				
性別	1:女性	生年月日	1945/12/05	年齢	52 歳
郵便番号	454-0003	参照			
住所1	名古屋市中川区松重町1-10-1				
住所2	××マンション301号				
電話番号	052-331-2298				
利用者との続柄	4:長女	利用者との別同居	1:別居		
援助時間	3 時間	2:土日祝日			
<input type="button" value="F1:終了"/> <input type="button" value="F3:次頁"/> <input type="button" value="F4:印刷"/> <input type="button" value="F5:削除"/> <input type="button" value="F7:取消"/> <input type="button" value="F8:確定"/>					

介護情報登録画面

ADL登録

要介護者ID: ID000001 山田 太郎 参照 修正

項目名	状態	項目名	状態
1 歩行 (屋外)	03:物につかまって歩ける	金銭管理	04:基本的なもののみ可能
2 歩行 (屋内)	03:物につかまって歩ける	服薬	03:かろうじてできる
3 立位	02:何とか立てる	整容	02:大体できるが不完全
4 寝返り	01:普通		
5 衣服着脱	03:一部介助		
6 食事	03:一部介助		
7 排泄 (小便)	02:便所に行くのが遅い		
8 排泄 (大便)	02:便所に行くのが遅い		
9 入浴	03:一部介助		
10 視力	03:誰か分かる程度		
11 聴力	03:大きい声で会話		
12 意志表示	02:大体できるが不完全		
13 話の理解	01:普通		
14 徘徊	02:室内を時々徘徊		
15 痴呆	02:軽度		
16 洗濯	05:全面介助		
17 買い物	04:かなり介助		
18 炊事	05:全面介助		
19 掃除	04:かなり介助		
20 電話	03:かろうじてできる		

F1:終了 F4:印刷 F5:削除 F7:取消 F8:確定

ADL登録画面

身体・精神状況登録

要介護者ID: ID000001 山田 太郎 参照 修正

項目名	状態	項目名	状態
1 幻覚	01:幻覚無	麻痺	02:麻痺有
2 妄想	01:妄想無	拘縮	01:拘縮無
3 物忘れ	02:物忘れ有	褥瘡	01:褥瘡無
4 失見当識	01:失見当識無	動機息切れ	02:動機息切れ有
5 失認	01:失認無	便秘	02:便秘有
6 意識障害	01:意識障害無	失禁	01:失禁無
7 自殺企図	01:自殺企図無	外傷	01:外傷無
8 攻撃暴力	01:攻撃暴力無	家族とのコミュニケーション	02:普通
9 性的異常行動	01:性的異常行動無		
10 不潔行為	01:不潔行為無		
11 奇声を上げる	01:奇声を上げる無		
12 過食	01:過食無		
13 蒐集癖	01:蒐集癖無		
14 乱買	01:乱買無		
15 弄火	01:弄火無		
16 虚言	02:虚言有		
17 外出迷子	01:外出迷子無		
18 徘徊	01:徘徊無		
19 感情障害	01:感情障害無		
20 夜間行動異常	01:夜間行動異常無		

F1:終了 F4:印刷 F5:削除 F7:取消 F8:確定

身体・精神状況登録画面

ヘルパーID HP000001 伊藤 和子 参照 修正

氏名(漢字) 伊藤 和子

氏名(カナ) イワノカコ

性別 1:女性 生年月日 1950/11/22 年齢 47 歳

郵便番号 454-0001 参照

住所1 名古屋市中川区蓮河町10-2

住所2

電話番号 052-331-2311

F1:終了 F3:次頁 F4:印刷 F5:削除 F7:取消 F8:確定

ヘルパー登録画面

作業指示ID ID000001 山田 太郎 参照 修正

要望・問題点 1人の時がほとんどのため、出来るだけ話し相手をする

指示項目	指示内容1	指示内容2	指示内容3
1 食事	<input type="checkbox"/> 献立作成	<input checked="" type="checkbox"/> 調理	<input checked="" type="checkbox"/> 食事介助
2 清潔	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面	<input checked="" type="checkbox"/> 歯磨き	<input checked="" type="checkbox"/> 口腔清掃
3 排泄	<input checked="" type="checkbox"/> おむつ交換	<input checked="" type="checkbox"/> 尿びんを使用	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド上排泄介助
4 リハビリ	<input checked="" type="checkbox"/> 体位交換	<input checked="" type="checkbox"/> 座位保持	<input checked="" type="checkbox"/> 移動介助
5 寝具・衣服	<input checked="" type="checkbox"/> 寝衣・シーツ交換	<input checked="" type="checkbox"/> 衣類脱着の介助	<input checked="" type="checkbox"/> 洗濯
6 精神的援助	<input checked="" type="checkbox"/> 話相手	<input checked="" type="checkbox"/> 心理的援助	<input checked="" type="checkbox"/> 生活上の助言
7 投薬	<input checked="" type="checkbox"/> 服薬管理	<input checked="" type="checkbox"/> 心理的援助	
8 受診・通院	<input checked="" type="checkbox"/> 往診医・専門医の紹介	<input checked="" type="checkbox"/> 通院介助	<input checked="" type="checkbox"/> 通院付き添い
9 住居	<input checked="" type="checkbox"/> 換気	<input checked="" type="checkbox"/> 室温	<input checked="" type="checkbox"/> 日当たり調整
10 買い物等	<input checked="" type="checkbox"/> 買い物	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き代行	<input checked="" type="checkbox"/> 金銭管理
11 関係機関への連絡	<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 社協	<input checked="" type="checkbox"/> 在宅福祉サービス
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			

F1:終了 F4:印刷 F5:削除 F7:取消 F8:確定

作業指示登録画面

ヘルパー活動カレンダー登録

ヘルパーID: HP000001 伊藤 和子 参照 年月: 1998/03 **修正**

日	月	火	水	木	金	土								
1	否	2	可	3	可	4	可	5	可	6	可	7	否	否可
8	否	9	可	10	可	11	可	12	可	13	可	14	否	否可
15	否	16	可	17	可	18	可	19	可	20	可	21	否	否可
22	否	23	可	24	可	25	可	26	可	27	可	28	否	否可
29	否	30	可	31	可									否可

F1: 終了 F4: 印刷 F5: 削除 F7: 取消 F8: 確定

ヘルパー活動カレンダー登録画面

作業指示作成(滞在型)

要介護者ID: ID000001 山田 太郎 参照 **修正**

要望・問題点: 1人の時間がほとんどのため、出来るだけ話し相手をする | 作業指示からのコピー

	指示項目	指示内容1	指示内容2	指示内容3
1	<input type="checkbox"/> 食事	<input type="checkbox"/> 献立作成	<input type="checkbox"/> 調理	<input type="checkbox"/> 食事介助
2	<input type="checkbox"/> 清潔	<input type="checkbox"/> 洗面	<input type="checkbox"/> 歯磨き	<input type="checkbox"/> 口腔清掃
3	<input type="checkbox"/> 排泄	<input type="checkbox"/> おむつ交換	<input type="checkbox"/> 尿びんを使用	<input type="checkbox"/> ベッド上排泄介助
4	<input type="checkbox"/> リハビリ	<input type="checkbox"/> 体位交換	<input type="checkbox"/> 座位保持	<input type="checkbox"/> 移動介助
5	<input type="checkbox"/> 寝具・衣服	<input type="checkbox"/> 寝衣・シーツ交換	<input type="checkbox"/> 衣類脱着の介助	<input type="checkbox"/> 洗濯
6	<input type="checkbox"/> 精神的援助	<input type="checkbox"/> 話相手	<input type="checkbox"/> 心理的援助	<input type="checkbox"/> 生活上の助言
7	<input type="checkbox"/> 投薬	<input type="checkbox"/> 服薬管理	<input type="checkbox"/> 心理的援助	
8	<input type="checkbox"/> 受診・通院	<input type="checkbox"/> 往診医・専門医の紹介	<input type="checkbox"/> 通院介助	<input type="checkbox"/> 通院付き添い
9	<input type="checkbox"/> 住居	<input type="checkbox"/> 換気	<input type="checkbox"/> 室温	<input type="checkbox"/> 日当たり調整
10	<input type="checkbox"/> 買い物等	<input type="checkbox"/> 買い物	<input type="checkbox"/> 手続き代行	<input type="checkbox"/> 金銭管理
11	<input type="checkbox"/> 関係機関への連絡	<input type="checkbox"/> 社会福祉事務所	<input type="checkbox"/> 社協	<input type="checkbox"/> 在宅福祉サービス
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

F1: 終了 F4: 印刷 F5: 削除 F7: 取消 F8: 確定

作業指示作成(滞在型)画面

要介護者ID		ID000001	山田 太郎		参照	修正
	介護項目	介護項目	介護項目	介護項目	介護項目	介護項目
	ヘルパーID	ヘルパーID	ヘルパーID	ヘルパーID	ヘルパーID	ヘルパーID
	午前		午後		夜間	
月		ホームヘルプ 滞在型 伊藤 和子				
火	デイサービス					
水		ホームヘルプ 滞在型 伊藤 和子				
木	デイサービス	デイサービス				
金		ホームヘルプ 滞在型 伊藤 和子				
土						
日						
F1:終了		F4:印刷		F5:削除		F7:取消
						F8:確定

週間介護計画作成画面

———— 禁無断転載 ————

平成10年 3月発行

発行 財団法人 データベース振興センター  
東京都港区新橋二丁目13番8号  
新橋東和ビル5階  
TEL 03-3508-2430

委託先 株式会社 フォワード  
名古屋市中川区尾頭橋4丁目13番7号  
/nabi 金山 505,506  
TEL 052-331-2775

印刷所 株式会社 友人社  
名古屋市中区丸の内1丁目12番19号  
TEL 052-231-1248

